

# 宮崎県水産白書

令和4年11月

宮 崎 県

# 目次

## トピックスー令和3年度ー

1	コロナに負けるな！地産地消応援消費	1
2	アマダイ類の種苗生産と放流技術開発	2
3	これまでのみやざき丸について	3

## 第I章 本県の水産業・漁村の現状

1	生産状況	
(1)	概要	4
(2)	海面漁業・養殖業	5
(3)	内水面漁業・養殖業	8
(4)	水産加工業	9
(5)	全国順位	10
(6)	海面漁業生産量・生産額の推移	13
2	漁業生産構造	
(1)	漁船の隻数	14
(2)	漁業経営体数	15
(3)	漁業就業者数	17
(4)	水産団体	19
3	水産物の流通	
(1)	水産物流通の現状	20
(2)	水産物卸売市場の現状	21
(3)	水産物輸出の現状	22
4	生産基盤	
(1)	適切な資源管理の推進	23
(2)	保護水面	25
(3)	内水面資源の増殖	25
(4)	水産基盤（漁港・漁場）の整備	26
(5)	共同利用施設の整備	28
(6)	漁業の免許・許可	30
(7)	漁船の安全操業の確保	31

## 第II章 水産行政組織の概要及び分掌事務

1	組織概要	32
2	主な分掌事務	33
3	県立高等水産研修所	35
4	水産試験場	37

## 第III章 令和4年度水産当初予算における重点施策

## 第IV章 資料編

1	各種統計	42
2	宮崎県で行われている主な海面漁業	51
3	宮崎県水産物ブランド認証品	55
	【統計用語の説明】	

# トピックス ～令和3年度～

## 1 コロナに負けるな！地産地消応援消費

本県では、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い、訪日外国人旅行者や外食需要が減少し、県産農畜水産物の消費・流通に深刻な影響が生じました。水産物では、特に養殖業において、出荷量の減少に伴う養殖魚の長期滞留で、収益の減少や維持費の増加が深刻化しており、一刻も早く消費の回帰を促さなければ、生産基盤の衰退までもが危惧される状況です。

また、新型コロナウイルス感染症は児童にも大きな影響を与えています。県内小中学校が臨時休校を余儀なくされ、児童が登校できない・友達と会えない辛い日々を過ごすことになりました。感染状況が改善し登校できるようになっても、感染防止の観点から給食中は「黙食」が推奨されるため、子供たちが給食を満足に楽しめない状況です。

このようなことから、生産者の生産・供給体制の維持はもとより、児童に地元の食の魅力に触れてもらおうと、県産の養殖マダイやカンパチ、ウナギなどを学校給食に提供する取組を行いました。

実際に県産水産物を味わった児童からは、「魚が苦手だったけど、これなら食べられる！」、「魚を育てるって大変なんだ！」など、美味しい給食を食べられた喜び、生産現場のたゆまない努力を知った感動の声が多く寄せられました。

今後も、県産水産物の消費拡大を目指し魚食普及PRに取り組んでいきます。



給食風景

### ○実際に提供のあった水産物メニューの例



マダイの唐揚げ



きざみ鰻の蒲焼き

## 2 アマダイ類の種苗生産と放流技術開発

本県で漁獲されるアマダイ類には、アカアマダイ、シロアマダイ、キアマダイの3種があります。最も多いのがアカアマダイで年間15トン程度がはえ縄漁業等で漁獲されています。水揚げ時のアマダイ類の平均単価は、1,800円/kg程度と、他の魚よりも高値で安定しており、本県の沿岸漁業にとって重要な魚です。過去には200トン以上漁獲されたこともありましたが、平成元年をピークに減少し始め、平成23年にはわずか8トンの漁獲という危機的な状況になっていました。

そこで、県では、アマダイ類資源の積極的な回復を図るため、平成28年度から「宮崎海域アマダイ類の資源回復計画」に基づき、漁業者をはじめ、関係者一体となって獲り過ぎないようにする資源管理や、資源をより早く回復させるための種苗放流に取り組んでいます。その結果、資源量、漁獲量ともに増加傾向にあります。

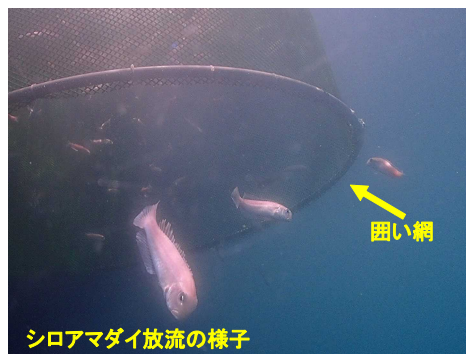
アマダイ類の種苗生産技術の開発は、平成26年度から、親魚の確保などの面で漁業者の協力を得ながら、水産試験場、(一財)宮崎県水産振興協会が連携して取り組んでいます。

年によって生産尾数にばらつきがあるものの、毎年一定数の種苗を生産、放流しており、令和3年度には、これまでで最多となる合計52.7千尾のアカアマダイを県内各地に放流することができました。これらの放流魚の一部は、腹鰭を切除標識することで放流した魚であることが分かるようにしてあります。平成29年以降、合計で17尾の標識魚が漁獲され、放流した魚が、着実に日向灘に根付き、順調に成長していることを確認しています。さらに、令和3年度には全国でも3例目となるシロアマダイの種苗生産にも成功し、油津港において県内で初めて約1.5千尾の種苗を放流しました。シロアマダイは、流通量がアカアマダイに比べて少なく、「幻の高級魚」と呼ばれる魚で、全国各地で種苗生産技術開発に取り組まれています。

今後も、より早期のアマダイ類資源回復を果たすため、関係者との協力、連携の下、着実な資源の管理と増殖に取り組んでいく予定です。

	放流尾数 (千尾)	備考
H26 ('14)	8.2	アカアマダイ
H27 ('15)	21.0	アカアマダイ
H28 ('16)	22.0	アカアマダイ
H29 ('17)	5.6	アカアマダイ
H30 ('18)	6.2	アカアマダイ
R元 ('19)	18.0	アカアマダイ
R2 ('20)	7.2	アカアマダイ
R3 ('21)	52.7	アカアマダイ
	1.5	シロアマダイ

アマダイ類の放流実績



※アマダイ類を放流する際には、海鳥からの食害を防止するために、水産試験場が考案した囲い網を使用しています。

### 3 これまでのみやざき丸について

水産試験場の漁業調査取締船であるみやざき丸は、平成15年に5代目のみやざき丸として竣工以来、かつお・まぐろ漁業調査や海洋観測等を実施し、本県水産業の振興に寄与してきました。しかし、竣工以来19年が経過し、船体や設備の老朽化が進んでいることから、令和3年度から代船を建造しているところです。そこで、これまでのみやざき丸について振り返ってみます。

初代みやざき丸は、戦後、まぐろはえ縄漁業の近代化が停滞傾向にあったことから、まぐろはえ縄漁業の試験操業でマグロの漁場開発及び資源調査と指導を行い、遠洋まぐろはえ縄漁業への進出を促進するために、昭和26年2月に竣工しました。72.84トンの木製で速力は8.25ノットでした。当時、南那珂郡油津町にあった遠洋漁業指導所に所属し、マグロ資源調査、地元乗組員の養成、合成繊維による漁具実用化試験等を実施していました。



初代みやざき丸



5代目みやざき丸

昭和20～30年代には、本県のかつお一本釣漁船が周年操業化し、規模を拡大し大型化しましたが、漁獲量に変動があり経済的にも不安定であったことから、カツオ・ビンナガ漁場調査・資源調査でその動向を把握し、漁海況情報により業界船の漁獲を向上させることが急務でありました。そこで、2代目みやざき丸はかつお一本釣船型となり、219.65トンと大型化し、鋼船となりました（昭和34年5月竣工）。

以降、3代目（294.78トン）が昭和48年3月に、4代目（169トン）が昭和62年3月に竣工しています。

5代目となる現在のみやざき丸は長崎造船(株)で建造され、平成15年5月に竣工しました。全長43.9m、総トン数199トンの鋼製です。かつお・まぐろ漁業の漁期開始時や漁場転換期の漁場形成の解明のために最新機器を搭載し、資源の把握、予測精度の向上を図りました。また、新たな海洋秩序時代を迎え、資源管理の重要性がますます大きくなったことから、沖合漁場調査や研修等も実施する多機能型船となりました。

長年、かつお・まぐろ漁業調査や海洋観測等で活躍してきましたが、竣工以来19年が経過し、船体や搭載機器の老朽化により、6代目みやざき丸が竣工予定の令和4年11月をもってその役目を終えることになっています。

# 第 I 章 本県の水産業・漁村の現状

## 1 生産状況

### (1) 概要

本県の海岸線は総延長400kmで、海域は、沖合では北上する黒潮の影響が強く、沿岸部では流入する河川水や豊後水道から南下する沿岸水と黒潮によって複雑な海況となっており、沿岸はイワシ、アジ、サバ等の好漁場となり、さらにその沖合にはカツオ、マグロの漁場が形成されています。



近海かつお一本釣漁船（南郷町目井津港）

海面漁業は、北部ではまき網、底びき網などの網漁業とブリ類、マダイを主体とする養殖業、中部では船びき網、一本釣、ひき縄、はえ縄、底びき網、さらに南部ではかつお一本釣、まぐろはえ縄等の沖合漁業が盛んに行われています。



まぐろはえ縄漁

特に、「近海かつお一本釣」の漁獲量は、平成6年から27年連続で日本一の地位を保っています。

海面養殖業は、冬季の高水温と天然種苗の確保が容易であるという条件を背景にして、内湾の多い県北・県南部のブリ類養殖を中心に順調に伸びてきました。

近年は、沖合養殖によるブリ類の品質の向上が図られる一方で、ニーズの多様化等により新魚種への転換も進み、カンパチのほか、マダイ、シマアジ、マサバ等の養殖が行われています。

水産加工業は、県内に広く立地し、イワシ、アジ等の塩干、チリメンジャコを代表とする煮干し品やサバ等の節製品を主体に生産しています。



養殖ブリ水揚げ

内水面漁業については、大淀川、一ツ瀬川、五ヶ瀬川、小丸川、耳川などにおいて、アユ、コイ、ウナギ等を対象とする河川漁業が行われています。

また、天然種苗や豊富な地下水、温暖な気候を活かし、ウナギ、アユ等の内水面養殖が行われています。

## (2) 海面漁業・養殖業

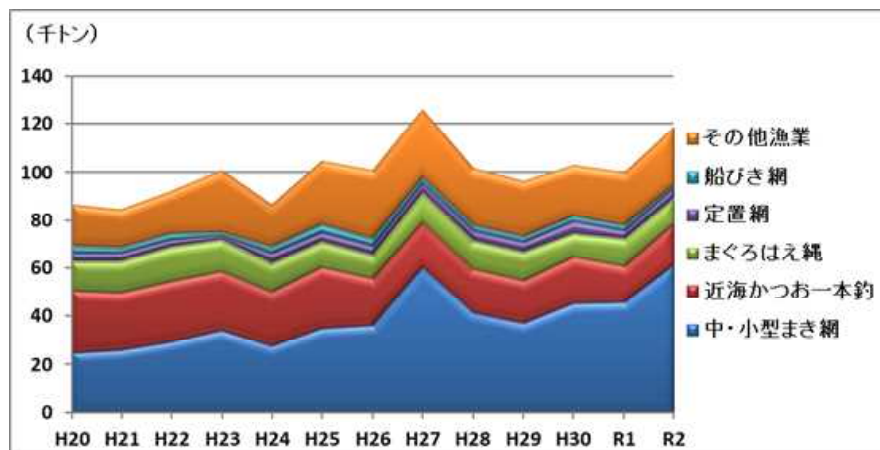
### 1) 漁業種類別漁獲量・生産額

海面漁業における令和2年の漁獲量は118,947トンで、前年と比べ18,817トン（18.8%）増加しました。

一方で、生産額は223億8,800万円で、新型コロナウイルス感染症の影響により前年と比べ5億1,300万円（2.2%）減少しました。

速報値

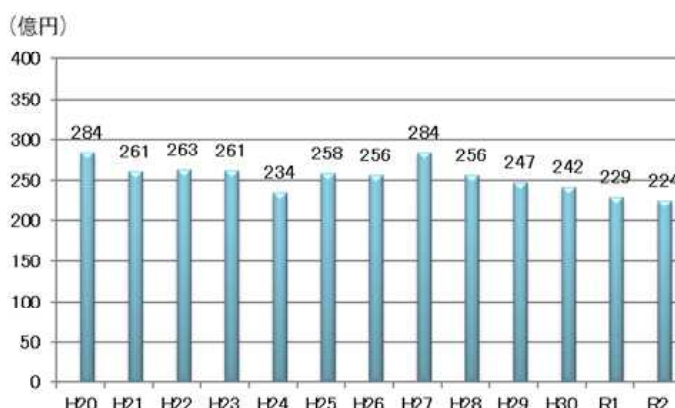
漁業種類別漁獲量の推移



令和2年漁業種類別漁獲量の割合



海面漁業生産額の推移



漁業種類別漁獲量・生産額

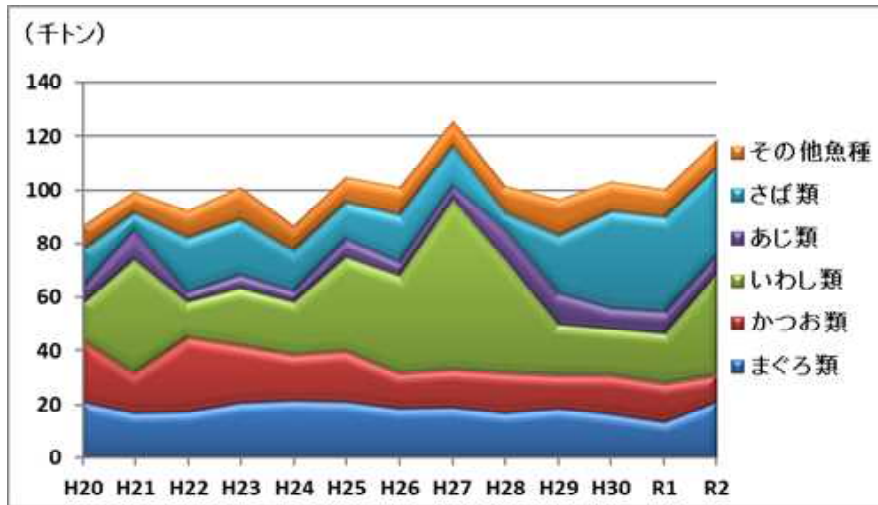
単位（漁獲量：トン、生産額：百万円）

区分		H28	H29	H30	R元	R2	増減率(%)	
							R2/H28	R2/R1
合計	漁獲量	101,748	96,540	103,281	100,130	118,947	16.9	18.8
	生産額	25,613	24,665	24,152	22,901	22,388	▲ 12.6	▲ 2.2
中・小型まき網	漁獲量	41,387	37,079	45,193	45,711	61,270	48.0	34.0
	生産額	-	-	-	-	-	-	-
近海かつお一本釣	漁獲量	18,363	17,605	19,375	15,113	17,221	▲ 6.2	13.9
	生産額	-	-	-	-	-	-	-
まぐろはえ縄	漁獲量	11,629	12,229	9,722	11,256	10,655	▲ 8.4	▲ 5.3
	生産額	-	-	-	-	-	-	-
定置網	漁獲量	4,057	4,067	4,938	3,616	4,252	4.8	17.6
	生産額	-	-	-	-	-	-	-
船びき網	漁獲量	2,221	1,966	2,195	1,883	1,320	▲ 40.6	▲ 29.9
	生産額	-	-	-	-	-	-	-
その他漁業	漁獲量	24,091	23,594	21,858	22,551	24,229	0.6	7.4
	生産額	-	-	-	-	-	-	-

出典：令和2年漁業・養殖業生産統計

## 2) 魚種別漁獲量・生産額

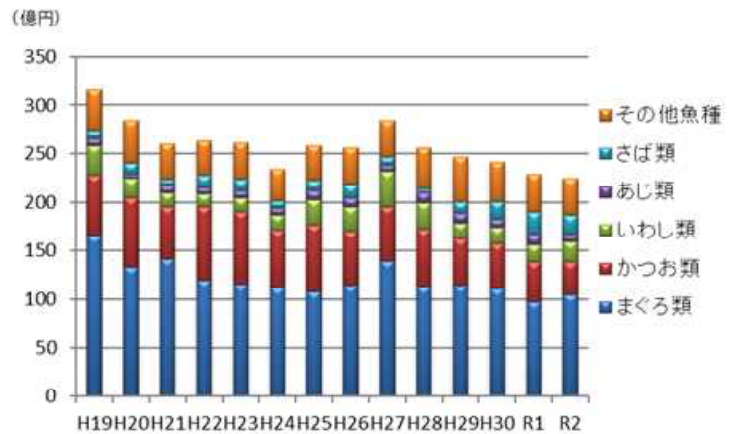
魚種別漁獲量の推移



令和2年魚種別漁獲量の割合



魚種別生産額の推移



魚種別漁獲量・生産額

単位 (漁獲量: トン、生産額: 百万円)

区分		H28	H29	H30	R1	R2	増減比 (%)	
							R2/H28	R2/R1
合計	漁獲量	101,748	96,540	103,281	100,130	118,947	16.9	18.8
	生産額	25,613	24,665	24,152	22,901	22,388	▲ 12.6	▲ 2.2
まぐろ類	漁獲量	17,034	18,533	16,448	13,501	21,291	25.0	57.7
	生産額	11,356	11,408	11,072	9,681	10,506	▲ 7.5	8.5
かつお類	漁獲量	14,726	12,249	14,621	14,577	9,434	▲ 35.9	▲ 35.3
	生産額	5,810	4,781	4,623	4,162	3,287	▲ 43.4	▲ 21.0
いわし類	漁獲量	42,072	18,982	16,998	18,257	38,128	▲ 9.4	108.8
	生産額	2,719	1,672	1,686	1,783	2,180	▲ 19.8	22.3
あじ類	漁獲量	11,007	11,923	8,121	8,565	6,882	▲ 37.5	▲ 19.6
	生産額	1,079	976	833	1,064	733	▲ 32.1	▲ 31.1
さば類	漁獲量	6,538	21,353	35,481	34,759	32,438	396.1	▲ 6.7
	生産額	451	1,153	1,845	2,259	1,946	331.5	▲ 13.9
その他魚種	漁獲量	10,371	13,500	11,612	10,471	10,774	3.9	2.9
	生産額	4,198	4,675	4,093	3,952	3,736	▲ 11.0	▲ 5.5

出典: 令和2年漁業・養殖業生産統計

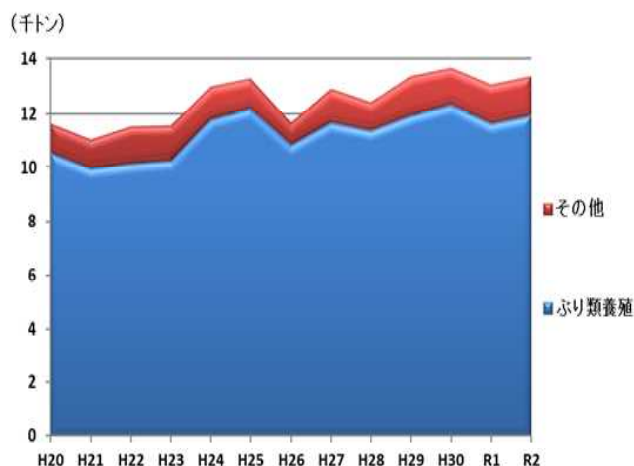


### 3) 海面養殖業の収穫量・生産額

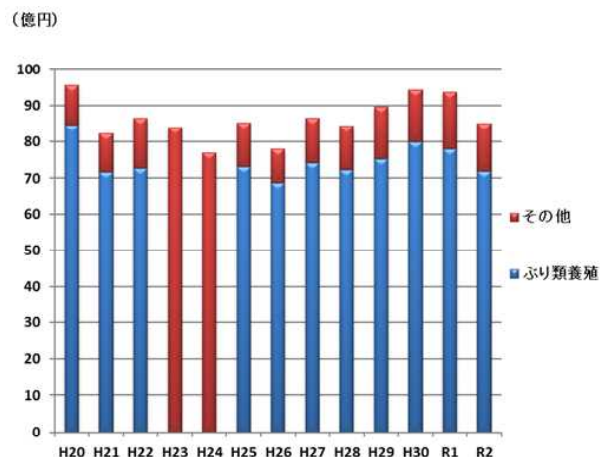
海面養殖業は、冬季の高水温と天然種苗の確保が容易であるという条件を背景にして、内湾の多い県北・県南部のブリ類養殖業を中心に順調に発達してきました。

近年は、ブリ類の沖合養殖への展開が進み、さらに大型の浮沈式生簀による大規模沖合養殖システムの技術開発が進められています。

海面養殖業収穫量の推移



海面養殖業生産額の推移



※平成23・24年は「ぶり類」の生産額が未公表

海面養殖業収穫量・生産額

単位（収穫量：トン、生産額：百万円）

区分		H28	H29	H30	R1	R2	増減比(%)	
							R2/H28	R2/R1
合計	収穫量	12,376	13,325	13,627	13,038	13,339	7.8	2.3
	生産額	8,437	8,965	9,437	9,378	8,513	0.9	▲ 9.2
ぶり類養殖	収穫量	11,370	11,917	12,304	11,596	11,915	4.8	2.8
	生産額	7,230	7,532	8,004	7,803	7,180	▲ 0.7	▲ 8.0
まだい養殖	収穫量	590	955	875	949	1,011	71.4	6.5
	生産額	482	799	825	883	734	52.3	▲ 16.9
その他	収穫量	416	453	448	493	413	▲ 0.7	▲ 16.2
	生産額	725	634	608	692	599	▲ 17.4	▲ 13.4

出典：令和2年漁業・養殖業生産統計



ブリ



まだい

### (3) 内水面漁業・養殖業

#### 1) 内水面漁業・養殖業の生産量

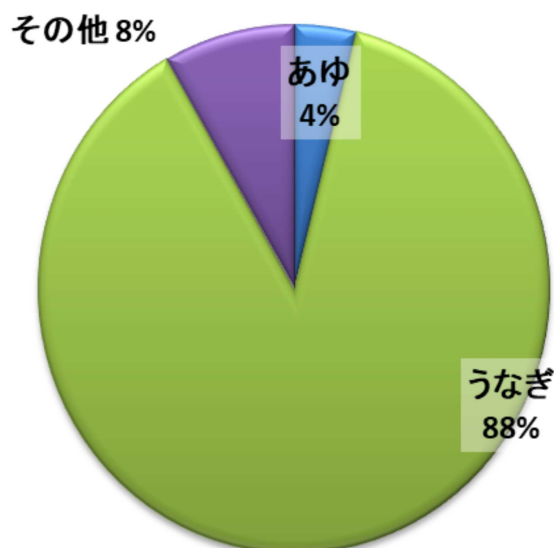
内水面漁業における令和2年の主要河川（大淀川、一ツ瀬川）の漁獲量は33トンで、前年に比べ6トン（対前年比15.4%）減少しました。

また、内水面養殖業における令和2年の収穫量はうなぎを主体として3,252トンで、前年に比べ352トン（対前年比9.8%）減少しました。

令和2年内水面漁業漁獲量



令和2年内水面養殖業収穫量



内水面漁業漁獲量の推移

単位：トン

区分	H28	H29	H30	R元	R2	対各年比(%)	
						R2/H28	R2/R元
合計	37	42	33	39	33	▲ 10.8	▲ 15.4
あゆ	7	14	8	9	6	▲ 14.3	▲ 33.3
こい	3	3	3	3	4	33.3	33.3
うなぎ	3	3	2	3	2	▲ 33.3	▲ 33.3
その他	24	22	20	24	21	▲ 12.5	▲ 12.5

※大淀川、一ツ瀬川の合計

出典：令和2年漁業・養殖業生産統計

内水面養殖業収穫量の推移

単位：トン

区分	H28	H29	H30	R元	R2	対各年比(%)	
						R2/H28	R2/R元
合計	3,945	3,914	3,133	3,604	3,252	▲ 17.6	▲ 9.8
あゆ	248	206	181	126	127	▲ 48.8	0.8
こい	362	360	330	326	-	-	-
うなぎ	3,255	3,262	2,539	3,070	2,856	▲ 12.3	▲ 7.0
その他	80	86	83	82	269	-	-

※令和2年は、こいの統計数値が公表されていない

出典：令和2年漁業・養殖業生産統計

## (4) 水産加工業

### 1) 水産加工業

水産加工業は、宮崎市、都城市、延岡市、日南市、串間市、門川町など県内に広く立地し、イワシ、アジ、サバ、チリメン等の塩干品、煮干し品、ねり製品等を主体に生産しています。

### 2) 水産物製造品出荷額

令和元年の水産物製造品出荷額は、前年と比べて4億1,300万(3.9%)減の101億8,800万円となっています。

なお、水産加工品生産量については、令和2年から主産県調査とされ、本県は該当しなくなったため、農林水産省の水産加工統計調査における本県の統計がなくなりました。

※主産県：直近の漁業センサスの結果に基づき、品目別に全国の80パーセントを占めるまでの上位都道府県のことをいう。

#### 水産物製造品出荷額の推移

単位：百万円

区分	H27	H28	H29	H30	R元	増減比(%)	
						R元/H27	R元/H30
合計	9,950	9,117	9,972	10,601	10,188	2.4	▲ 3.9
ねり製品製造業	2,116	2,740	2,598	2,498	2,515	18.9	0.7
塩干・塩蔵品製造業	816	1,494	1,237	1,418	1,135	39.1	▲ 20.0
冷凍水産物製造業	4,183	x	x	905	829	▲ 80.2	▲ 8.4
冷凍水産食品製造業	700	2,080	2,417	1,769	1,633	133.3	▲ 7.7
その他	2,135	2,803	3,720	4,011	4,076	90.9	1.6

出典：宮崎県 統計調査課「宮崎県の工業」

## (5) 全国順位

※ 出典：令和2年漁業・養殖業生産統計

### 令和2年海面漁業養殖業都道府県別生産量及び生産額

単位（生産量：トン、生産額：百万円）

都道府県	生産量						生産額						
	計	順位	漁業	順位	養殖業	順位	計	順位	漁業	順位	養殖業	順位	
全 国	1	4,182,983		3,213,334		969,649		1,210,330		773,483		436,847	
北 海 道	2	989,026	1	894,911	1	94,115	2	202,084	1	180,054	1	22,030	9
青 森	3	172,491	6	91,117	10	81,374	4	45,353	8	34,786	5	10,567	15
岩 手	4	96,102	14	65,683	14	30,419	11	30,569	14	23,776	7	6,793	18
宮 城	5	248,959	4	165,161	5	83,798	3	71,848	4	48,732	3	23,116	8
秋 田	6	6,064	38	5,979	37	85	34	2,660	36	2,638	35	22	36
山 形	7	4,399	39	4,399	38	-	-	2,151	37	2,151	36	-	-
福 島	8	71,582	19	71,505	13	77	35	9,919	30	9,888	21	31	34
茨 城	9	302,213	2	302,213	2	x	-	0	38	x	-	x	-
千 葉	10	103,285	12	99,143	8	4,142	22	25,157	17	23,223	9	1,934	25
東 京	11	45,535	25	45,535	19	x	-	0	38	x	-	x	-
神 奈 川	12	31,415	28	30,599	22	816	30	14,481	25	14,052	17	429	31
新 潟	13	27,996	29	26,679	23	1,317	26	10,440	29	9,762	22	678	28
富 山	14	26,134	30	26,115	24	19	36	11,600	28	11,572	20	28	35
石 川	15	54,532	24	53,224	18	1,308	27	15,264	24	14,944	16	320	32
福 井	16	12,367	36	12,073	33	294	33	7,605	32	7,155	26	450	30
静 岡	17	186,500	5	184,055	4	2,445	24	45,860	7	43,243	4	2,617	23
愛 知	18	63,751	22	53,459	17	10,292	21	15,979	23	13,123	18	2,856	22
三 重	19	144,639	8	124,667	6	19,972	17	36,098	10	21,238	11	14,860	13
京 都	20	10,660	37	9,716	34	944	29	3,905	34	2,898	34	1,007	27
大 阪	21	15,399	35	14,884	28	515	31	3,740	35	3,623	32	117	33
兵 庫	22	118,081	11	41,591	20	76,490	6	48,838	6	23,661	8	25,177	6
和 歌 山	23	16,368	34	13,065	30	3,303	23	12,693	27	6,164	27	6,529	19
鳥 取	24	93,275	15	91,390	9	1,885	25	20,653	19	18,546	12	2,107	24
島 根	25	89,795	16	89,364	11	431	32	17,493	21	16,878	15	615	29
岡 山	26	24,048	31	2,579	39	21,469	16	6,709	33	1,642	37	5,067	21
広 島	27	118,116	10	18,958	26	99,158	1	22,576	18	6,134	28	16,442	12
山 口	28	23,798	32	22,811	25	987	28	14,056	26	12,315	19	1,741	26
徳 島	29	20,997	33	9,368	35	11,629	20	9,749	31	4,524	31	5,225	20
香 川	30	35,018	27	12,113	32	22,905	15	16,698	22	5,488	29	11,210	14
愛 媛	31	148,014	7	81,166	12	66,848	7	75,640	3	17,042	14	58,598	1
高 知	32	82,745	18	64,547	15	18,198	18	42,441	9	24,023	6	18,418	11
福 岡	33	66,656	20	16,411	27	50,245	9	30,549	16	8,888	25	21,661	10
佐 賀	34	83,216	17	6,531	36	76,685	5	30,562	15	3,264	33	27,298	5
長 崎	35	251,072	3	228,051	3	23,021	14	89,257	2	56,443	2	32,814	3
熊 本	36	66,070	21	13,080	29	52,990	8	33,442	11	4,741	30	28,701	4
大 分	37	59,068	23	35,518	21	23,550	13	32,524	12	9,352	24	23,172	7
宮 崎	38	132,286	9	118,947	7	13,339	19	30,901	13	22,388	10	8,513	17
鹿 児 島	39	102,731	13	53,799	16	48,932	10	64,891	5	18,224	13	46,667	2
沖 縄	40	38,579	26	12,928	31	25,651	12	18,442	20	9,410	23	9,032	16

令和2年漁業種別漁獲量

(※全国10位以内の漁業・魚種)

単位：トン

順位	中小型 まき網	近海まぐろ はえ縄	沿岸まぐろ はえ縄	遠洋かつお 一本釣	近海かつお 一本釣	沿岸かつお 一本釣	ひき縄釣
1	長崎 78,223	高知 8,211	宮崎 1,730	静岡 11,442	宮崎 17,221	高知 9,089	高知 2,392
2	島根 63,951	宮崎 8,193	沖縄 1,170	三重 8,752	高知 4,166	三重 1,319	沖縄 1,683
3	宮崎 61,270	宮城 6,777	青森 328	宮城 5,387		宮崎 558	長崎 1,637
4	三重 57,216	沖縄 5,194	千葉 150	高知 5,322		鹿児島 498	和歌山 937
5	愛媛 25,172	大分 1,460	岩手 118	宮崎 4,188		沖縄 339	福岡 866
6	鹿児島 22,220	三重 1,043	北海道 105			和歌山 282	三重 602
7	大分 18,445	和歌山 319	宮城 58				宮崎 572
8	千葉 16,730		東京 42				兵庫 537
9	高知 13,885		高知 30				鹿児島 489
10	石川 10,801		和歌山 13				東京 287
全国計	404,732	32,401	3,901	43,084	24,123	13,043	11,599
全国比	15.1%	25.3%	44.3%	9.7%	71.4%	4.3%	4.9%

\* 近海かつお一本釣27年連続日本一（平成6年～）

令和2年魚種別漁獲量（海面漁業）

単位：トン

順位	海面漁業							
	まぐろ類	びんなが	きはだ	めばち	かつお	かじき類	まかじき	めかじき
1	静岡 30,175	宮崎 14,492	静岡 17,172	宮城 6,635	静岡 58,630	宮城 3,338	宮崎 569	宮城 2,839
2	宮城 22,380	高知 10,351	宮城 7,763	高知 3,532	東京 29,066	高知 1,255	高知 322	高知 631
3	宮崎 21,291	静岡 9,153	東京 7,729	神奈川 2,501	宮城 24,870	宮崎 1,206	千葉 183	神奈川 426
4	高知 17,857	三重 8,771	宮崎 4,687	鹿児島 2,480	三重 11,120	沖縄 619	宮城 141	宮崎 417
5	三重 14,220	宮城 5,399	三重 3,360	沖縄 2,306	新潟 10,925	神奈川 609	神奈川 105	岩手 346
6	鹿児島 10,882	鹿児島 3,827	神奈川 3,288	静岡 2,200	高知 10,919	鹿児島 514	沖縄 62	東京 278
7	東京 9,152	沖縄 2,544	鳥取 3,199	岩手 2,092	宮崎 9,000	岩手 511	静岡 54	鹿児島 219
8	沖縄 8,377	青森 1,960	高知 3,082	宮崎 1,871	神奈川 8,319	三重 352	三重 47	沖縄 217
9	神奈川 6,923	茨城 1,066	沖縄 2,724	富山 1,770	長崎 6,513	東京 290	大分 42	静岡 217
10	岩手 5,265	岩手 1,054	長崎 2,575	三重 1,427	鹿児島 2,954	静岡 262	北海道 41	北海道 143
全国計	177,029	62,840	64,494	32,157	187,936	10,402	1,824	6,253
全国比	12.0%	23.1%	7.3%	5.8%	4.8%	11.6%	31.2%	6.7%

単位：トン

順位	海面漁業						
	うるめいわし	さば類	あじ類	むろあじ類	まあじ	いせえび	さめ類
1	宮崎 10,670	茨城 63,223	長崎 50,183	宮崎 3,330	長崎 47,519	三重 229	宮城 10,241
2	長崎 8,863	長崎 55,033	島根 14,459	長崎 2,663	島根 14,362	千葉 188	神奈川 1,829
3	愛媛 4,700	静岡 37,977	宮崎 6,882	鹿児島 2,520	千葉 4,201	和歌山 130	北海道 1,421
4	島根 4,160	三重 35,547	鹿児島 4,589	兵庫 702	愛媛 4,085	徳島 102	岩手 1,306
5	高知 3,189	宮崎 32,438	千葉 4,226	高知 687	宮崎 3,552	静岡 83	富山 1,229
6	三重 2,712	北海道 19,973	愛媛 4,172	和歌山 604	鳥取 2,535	宮崎 55	鹿児島 1,156
7	鹿児島 2,477	千葉 19,423	鳥取 2,548	静岡 427	石川 2,364	高知 44	青森 1,076
8	大分 1,604	青森 13,834	高知 2,424	三重 321	鹿児島 2,070	鹿児島 41	宮崎 1,007
9	熊本 1,166	鹿児島 13,477	石川 2,403	山口 203	高知 1,736	神奈川 31	高知 794
10	石川 499	福島 13,456	三重 2,020	福岡 157	大分 1,725	茨城 30	三重 612
全国計	42,568	389,750	110,558	12,482	98,077	1,023	21,714
全国比	25.1%	8.3%	6.2%	26.7%	3.6%	5.4%	4.6%

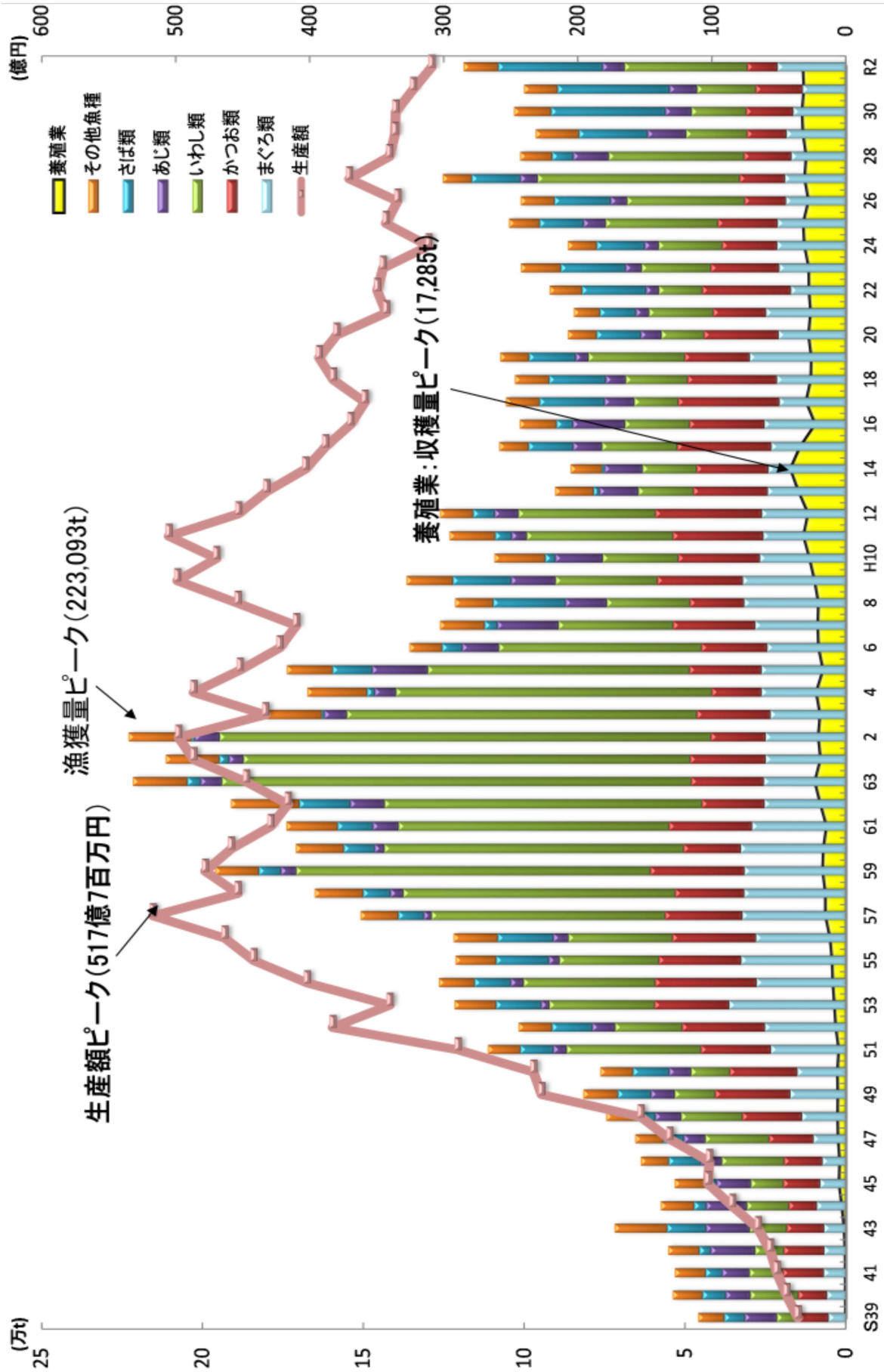
令和2年魚種別生産量（海面・内水面養殖業）

単位：トン

順位	海面養殖業						内水面養殖業	
	ぶり	かんばち	まあじ	しまあじ	まだい	ひらめ	あゆ	うなぎ
1	鹿児島 28,564	鹿児島 13,309	静岡 285	愛媛 1,916	愛媛 38,258	大分 536	愛知 1,189	鹿児島 7,057
2	大分 17,950	愛媛 2,815	愛媛 115	熊本 697	熊本 8,835	鹿児島 369	岐阜 906	愛知 4,315
3	愛媛 17,701	大分 1,717	宮崎 96	大分 468	高知 5,960	愛媛 243	和歌山 630	宮崎 2,856
4	宮崎 10,524	宮崎 1,391	熊本 41	高知 420	三重 3,538	長崎 142	栃木 318	静岡 1,536
5	長崎 8,376	熊本 723	佐賀 8	三重 175	長崎 2,566	宮崎 100	滋賀 217	徳島 243
6	高知 7,392	徳島 233	三重 2	長崎 163	和歌山 1,867	山口 17	徳島 152	三重 229
7	香川 5,366	長崎 153		宮崎 71	静岡 1,248	鳥取 6	宮崎 127	高知 204
8	熊本 5,002	京都 7		静岡 50	鹿児島 1,041		静岡 91	熊本 131
9	徳島 4,644				宮崎 1,011		熊本 87	愛媛 39
10	三重 2,896				香川 492		大分 85	大分 17
全国計	110,349	23,977	595	4,042	65,973	1,790	4,044	16,806
全国比	9.5%	5.8%	16.1%	1.8%	1.5%	5.6%	3.1%	17.0%

※令和2年は、こいの統計数値が公表されていない

(6) 海面漁業生産量・生産額の推移



資料: 漁業・養殖業生産統計

## 2 漁業生産構造

### (1) 漁船の隻数

令和3年度末現在の県内の海面における漁船登録隻数は2,139隻となっています。このうち動力漁船（船外機船を含む）は、2,131隻で全体の99.6%を占めており、1隻当たりの平均トン数は5.7トンとなっています。動力漁船を船質別にみると、鋼船0.4%（8隻）、木船0.6%（12隻）、FRP船99.1%（2,111隻）となっています。

また、船齢別構成では、船齢15年以上の占める割合が大きく増加し、動力漁船の高齢化が進んでいます。

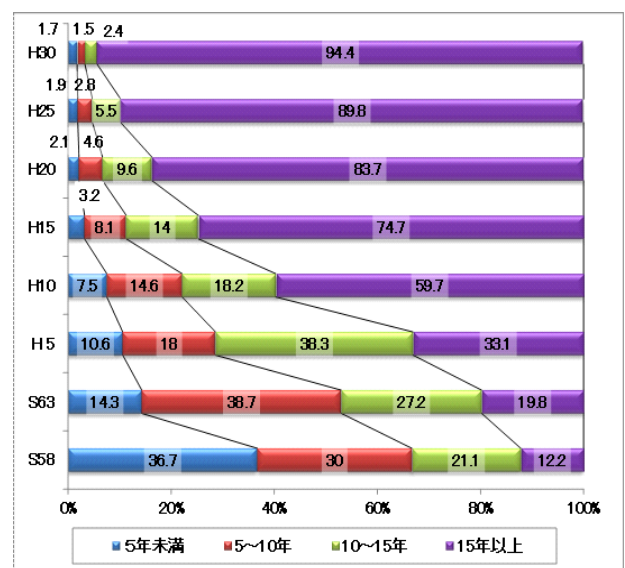
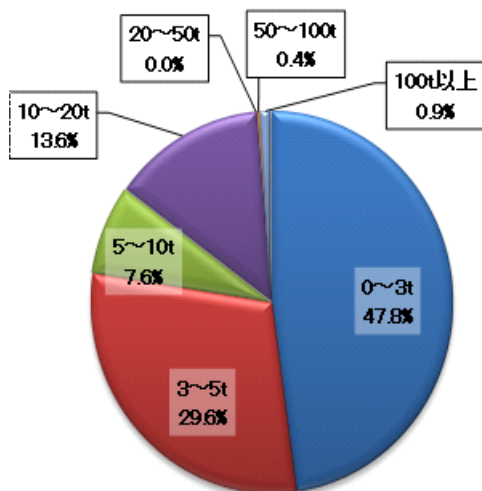
漁船登録隻数の推移

単位：隻数

年	総隻数	無動力 漁船 隻数	総動力 漁船 隻数	動力漁船の船質別構成						
				0～3t	3～5t	5～10t	10～20t	20～50t	50～100t	100t以上
H19	2,971	6	2,965	1,398	1,018	205	289	2	13	40
20	2,889	6	2,883	1,363	982	194	293	2	11	38
21	2,835	6	2,829	1,346	941	202	292	2	10	36
22	2,789	6	2,783	1,321	922	199	293	2	10	36
23	2,775	6	2,769	1,320	902	201	300	2	8	36
24	2,723	7	2,716	1,305	871	200	296	2	10	32
25	2,659	7	2,652	1,277	841	197	294	2	11	30
26	2,604	7	2,597	1,252	817	197	291	2	9	29
27	2,534	7	2,527	1,215	790	193	293	2	8	26
28	2,488	7	2,481	1,199	765	196	292	1	10	25
29	2,404	9	2,395	1,156	726	188	290	1	10	24
30	2,348	9	2,339	1,126	710	181	289	1	9	23
R元	2,277	10	2,267	1,094	680	172	289	1	8	23
2	2,171	9	2,162	1,027	660	162	283	0	8	22

出典：漁業管理課集計

動力漁船の船齢別構成の推移





## (2) 漁業経営体数

### 1) 主とする漁業種類別経営体数

本県における平成30年の漁業経営体数は950経営体で、平成25年より203経営体（17.6%）減少しています。

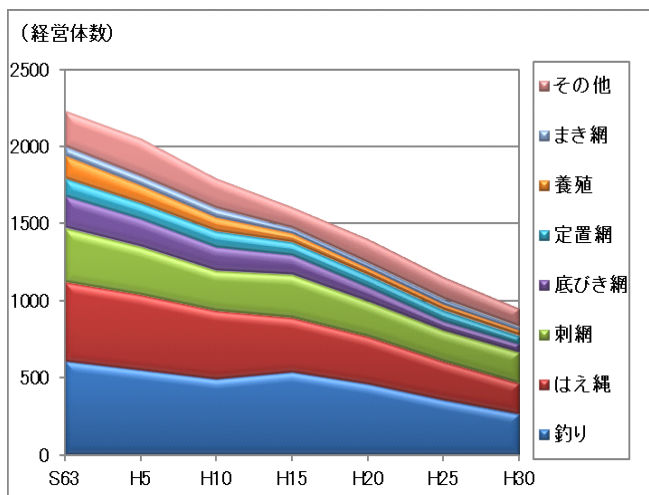
#### 主とする漁業種類別経営体の推移

単位：経営体

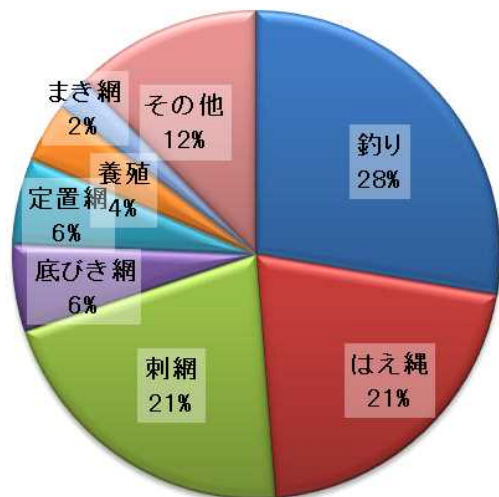
年度	計	底びき網	まき網	船びき網	刺網	かつお一本釣	その他の釣	まぐろはえ縄	その他のはえ縄	定置網	採貝採藻	その他海面漁業	海面養殖
S63	2,232	211	59	27	347	66	541	161	353	114	121	84	148
H5	2,051	180	54	27	309	52	492	182	312	103	82	137	121
H10	1,792	159	57	25	259	73	415	177	266	104	93	77	87
H15	1,603	133	33	24	272	48	487	175	182	84	53	56	56
H20	1,402	97	34	26	228	46	409	165	144	78	70	59	46
H25	1,153	63	33	23	201	38	317	148	101	73	58	59	39
H30	950	55	22	24	201	34	229	131	69	54	48	46	37
対25年比(%)	82.4	87.3	66.7	104.3	100.0	89.5	72.2	88.5	68.3	74.0	82.8	78.0	94.9
H30構成比(%)	100.0	5.8	2.3	2.5	21.2	3.6	24.1	13.8	7.3	5.7	5.1	4.8	3.9

出典：漁業センサス

#### 主とする漁業種類別経営体の割合



#### 平成30年主とする漁業種類別経営体の割合



※主とする漁業種類別経営体数は、経営体が営んだ漁業種類のうち水揚金額が最も多かった漁業種類によって分類しており、その年の気象や海況の条件、漁獲量の減少、魚価の動向によって変動する性格を有しています。

# 1) 漁業層別経営体数

平成30年の海面漁業経営体数を漁業層別にみると、全経営体数の約82%を占める沿岸漁業層は778経営体で、平成25年に比べ182経営体(19.0%)減少しました。

中小漁業層(かつお・まぐろ・まき網漁業)は172経営体で、平成25年に比べ21経営体(10.9%)減少しました。

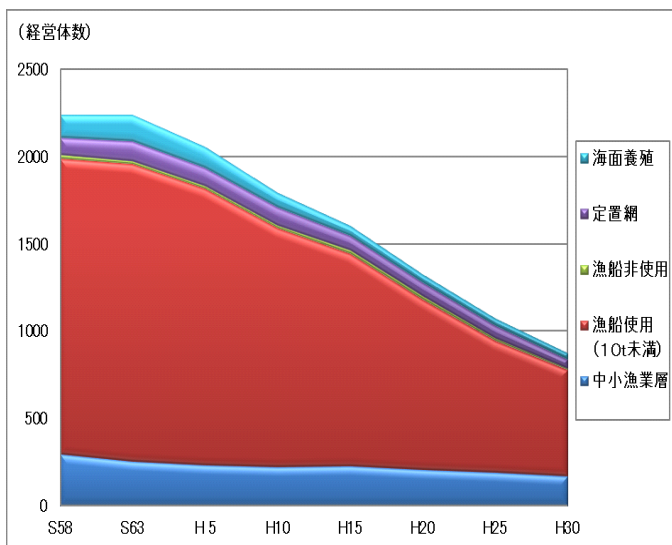
経営体階層別及び漁業層別経営体数

単位：経営体

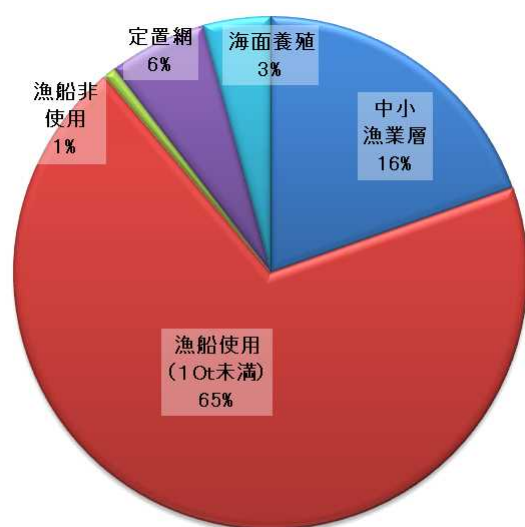
年	計	経営体階層別経営体												漁業層別経営体				
		漁船非使用	無動力漁船	船外機付漁船	動力漁船使用										定置網	海面養殖	沿岸漁業層	中小漁業層
					1トン未満	1~3	3~5	5~10	10~20	20~30	30~50	50~100	100トン以上					
S58	2,237	21	1	-	174	465	921	128	101	16	59	81	39	98	130	1941	296	
S63	2,232	17	-	-	233	442	873	146	103	5	44	78	28	114	148	1974	258	
H5	2,051	16	-	-	224	372	822	156	107	6	31	64	29	103	121	1814	237	
H10	1,792	14	-	-	171	299	727	164	114	7	30	40	35	104	87	1566	226	
H15	1,603	23	-	-	138	275	667	130	126	6	28	29	41	84	56	1373	230	
H20	1,402	19	-	79	48	241	581	100	122	6	31	22	29	78	46	1192	210	
H25	1,153	16	-	79	18	175	463	97	113	8	30	18	24	73	39	960	193	
H30	950	7	-	73	11	135	369	92	104	4	27	16	21	54	37	778	172	

出典：漁業センサス

漁業層別経営体数の推移



平成30年漁業層別経営体数の割合



### (3) 漁業就業者数

#### 1) 新規就業者数

令和3年に新たに就業した漁業者は、53人でした。

過去5年間の新規就業者内訳

単位：人

	H29	H30	R元	R2	R3
中学校卒業者	1	0	4	1	1
高校・大学・専門学校卒業者	22	10	12	9	20
県立高等水産研修所	10	9	7	6	8
他産業からの就業者等	20	26	30	30	24
合計	53	45	53	46	53

出典：水産政策課調べ

#### 2) 年齢別就業者数

本県の漁業就業者の年齢構成については、10代、20代が非常に少なく、60代以上が59.5%を占めています。又、若い世代の参入が少ないため、年々高齢化が進んでいます。

令和2年正組員数年齢別構成（法人を除く）

	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
正組員数(人)	2	54	161	251	312	1,165	1,945
割合	0.1%	2.8%	8.3%	12.9%	16.0%	59.9%	—

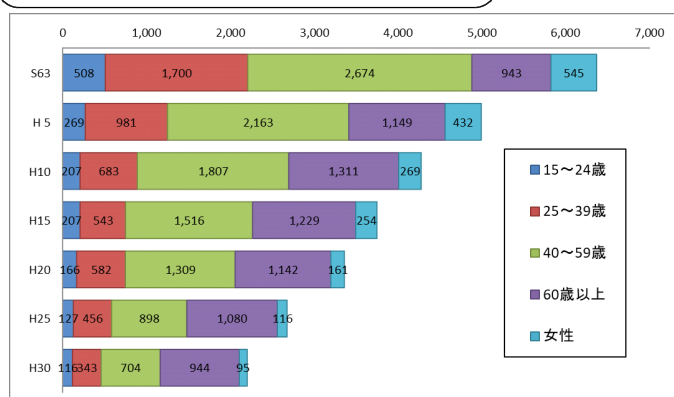
出典：宮崎県水産業協同組合要覧

#### 3) センサス年ごとの就業者数の推移

5年に一度実施される漁業センサスの結果を基に漁業就業者数の推移を見てみると、平成30年は平成25年に比較して475人（17.7%）減少しました。

また、男性就業者について年齢別にみると、平成30年は平成25年に比較して、全体に占める65歳以上の割合が5.3%増加しています。

男女・年齢別漁業就業者数の推移



男女・年齢別漁業就業者数

区分	総計	男						女
		小計	15～24歳	25～39歳	40～59歳	60歳以上	うち65歳以上	
(七) S63	6,370	5,825	508	1,700	2,674	943	453	545
(七) H5	4,994	4,562	269	981	2,163	1,149	555	432
(七) H10	4,277	4,008	207	683	1,807	1,311	749	269
(七) H15	3,749	3,495	207	543	1,516	1,229	847	254
(七) H20	3,360	3,199	166	582	1,309	1,142	792	161
(七) H25	2,677	2,561	127	456	898	1,080	679	116
(七) H30	2,202	2,107	116	343	704	944	673	95
対H25年比(%)	82.3	82.3	91.3	75.2	78.4	87.4	99.1	81.9
H30構成比(%)	100.0	95.7	5.3	15.6	32.0	42.9	30.6	4.3

出典：漁業センサス

#### 4) 外国人材の雇用状況

本県の基幹漁業であるかつお一本釣漁業やまぐろはえ縄漁業のほか、定置漁業、まき網漁業では、操業に多くの船員を必要とするため、邦人だけでなく、多くの外国人を雇用しています。うち技能実習生は、これまで県内6漁協が監理団体となり、3年もしくは5年の期間で受け入れていましたが、令和2年以降、新型コロナウイルス感染症の水際対策の影響により、外国人技能実習生の新規受入ができなくなったことから、在日外国人の在留資格延長や、新たに創設された特定技能制度に移行することで対応したところです。

また、特定技能制度を活用するため、令和2年度に登録支援機関となった6漁協に加え、令和3年度には公益社団法人宮崎県漁村活性化推進機構が登録支援機関となり、県下全域の受入体制が整備されたところです。

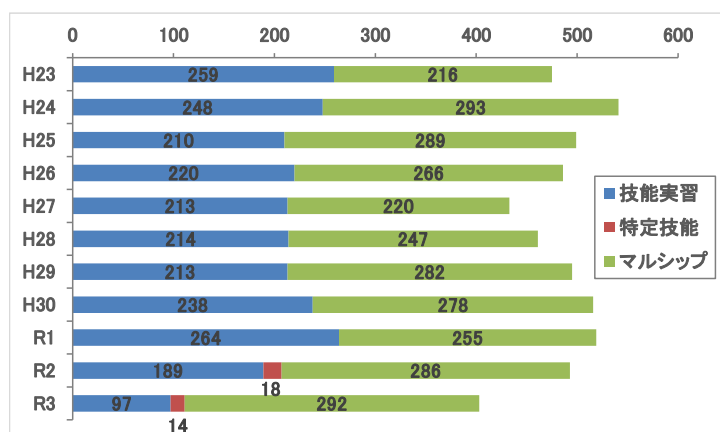
令和3年度に受け入れた外国人は403人となっており、漁業就業者数が減少傾向にある中、外国人船員は本県の基幹漁業等の経営に欠かせない人材となっています。

※技能実習制度：開発途上国への国際貢献と国際協力を目的として、日本の技術・技能・知識の習得を支援する制度

特定技能制度：深刻な人手不足の状況に対応するため、一定の専門性・技能を有した即戦力となる外国人材を雇用できる制度

マルシップ方式：日本人等が所有する船舶を外国法人等に貸渡し（裸用船）、当該外国法人が外国人船員を乗り込ませたものを貸渡人たる日本人等がチャーターバック（定期用船）し、日本船主が運航・操業する方式

#### 雇用している外国人材数の推移



出典：水産政策課調べ

## (4) 水産団体

### 1) 水産団体の状況

令和4年3月末時点の本県の水産業協同組合は、単位組合が74組合あり、その内訳は、沿海漁協20組合、内水面（河川）漁協40組合、漁業生産組合11組合、業種別組合1組合、水産加工業協同組合2組合となっています。

また、連合会は、県漁業協同組合連合会、県信用漁業協同組合連合会、県内水面漁業協同組合連合会、県無線漁業協同組合連合会があり、本県水産業協同組合の中核的役割を果たしています。

沿海漁協については、厳しい経営環境の中、漁業生産額や漁業者（組合員）などの減少が続いているため、今後とも漁業・漁村の中核組織としての役割を果たせるよう、県漁業協同組合連合会などの系統団体が中心となって地域連携による事業の合理化等の機能・基盤強化の取組を行っています。

#### 水産団体の状況

(令和4年3月31日現在)

組織別	事業別組合数	現在数	事業別組合数								
			信用事業	共済事業	購買事業	販売事業	製氷冷凍冷蔵	漁業自営	加工事業	漁業指利事業	無線事業
単位組合	沿海漁協	出資	20	17	19	18	11		7	20	2
		非出資									
		計	20	17	19	18	11		7	20	2
	内水面漁協	出資	7							7	
		非出資	33							33	
		計	40							40	
	沿海・内水面漁協計		60	17	19	18	11		7	60	2
	業種別漁協	出資	1		1					1	
		非出資									
		計	1		1					1	
漁協計		61	17	20	18	11		7	61	2	
漁業生産組合		11						11			
水産加工業協同組合		2		2	1					1	
単協計		74	0	17	22	19	11	11	7	62	2
連合会	漁業協同組合連合会※1	出資	2		2	1	1			2	
		非出資	1								1
		計	3	0	2	1	1			2	1
	信用漁業協同組合連合会※2	1	1								
連合会計		4	1	0	2	1	1	0	0	2	1

※1 大臣許可の組合連合会を含む。

※2 九州信用漁業協同組合連合会宮崎統括支店

### 2) 沿海地区漁業協同組合の組織状況（1組合平均）

(令和3年3月31日現在)

区分	正組合員数(人)	職員(人)	共済				購買	販売	製氷・冷凍・冷蔵	出資金
			長期共済		短期共済		(供給高)	(取扱高)	(取扱高)	
			件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
本県	106.3	8.85	434	2,768,344	226	2,540,211	181,166	1,440,280	190,043	159,721
全国平均	141.6	12.48	395	3,235,755	228	2,951,614	198,092	1,251,049	159,721	222,393

1 出典：令和2年度水産業協同組合統計表（都道府県知事許可の水産業協同組合、農水省編）

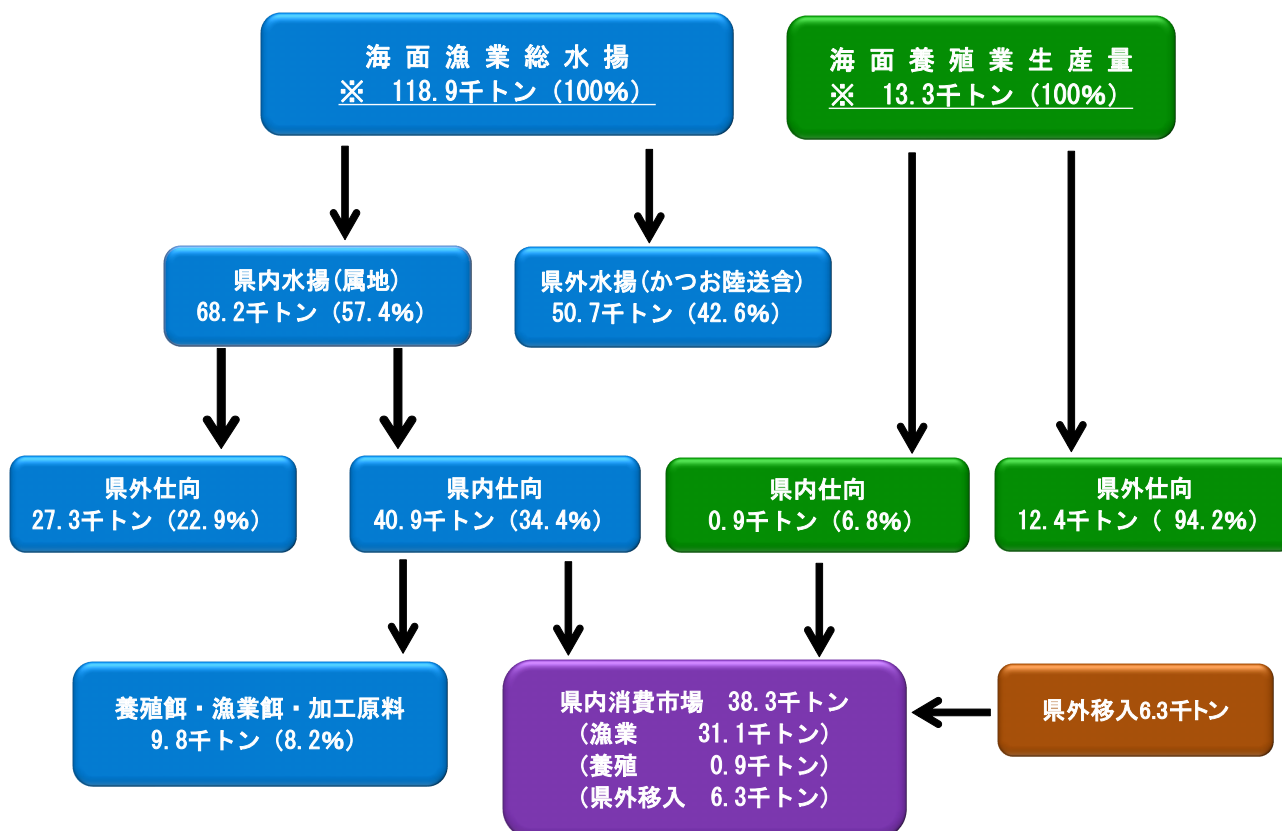
2 本県沿岸地区漁協の1組合平均数値については、事業実施組合数に応じ、各項目の合計数を除した数値

### 3 水産物の流通

#### (1) 水産物流通の現状

##### 1) 出荷先別割合

令和2年の海面漁業の総水揚げ118,947トンのうち、57.4%が県内に水揚げされ、42.6%が県外に水揚げされています。海面養殖業については、生産量13,339トンのうち、94.2%が県外仕向となっています。



出典：実数については、農林水産省「令和2年漁業・養殖業生産統計」を用い、「漁協・市場聞き取り調査」及び「地方卸売市場実態調査」の結果から算出した仕向先比率を用いて仕向量を推定。

## (2) 水産物卸売市場の現状

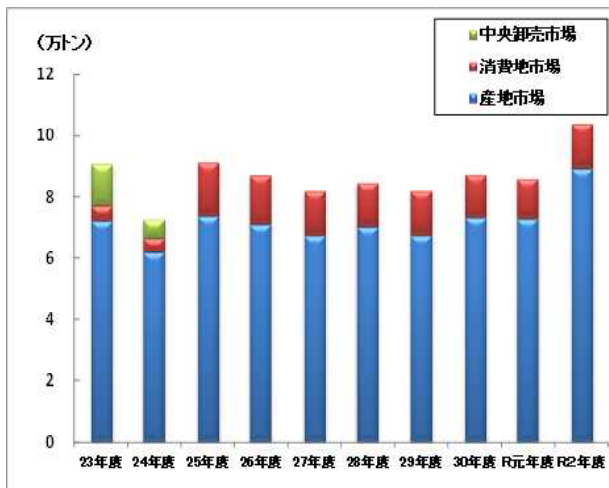
県内には、消費地市場（5市場）、産地市場（12市場）があります。

令和2年度の県内市場の取扱量は合計104,024トンで、取扱金額については、合計20,230百万円でした。

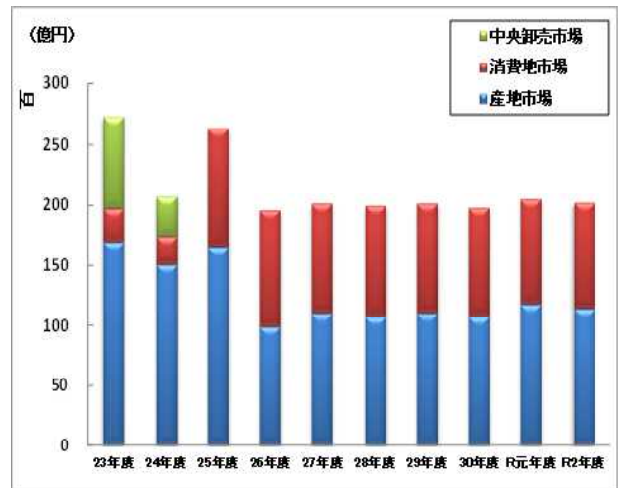
市場名	取扱高(R元年度)		取扱高(R2年度)		主要品目 (鮮魚)	
	量 (トン)	金額 (百万円)	量 (トン)	金額 (百万円)		
消費地市場	宮崎市公設地方卸売市場(株)宮崎魚市場	9,894	6,900	11,562	7,139	カツオ、マグロ類、ブリ類
	地方卸売市場(株)延岡魚市場	1,825	851	1,797	750	アジ類、サバ類、ブリ類
	地方卸売市場日向水産株式会社	222	116	215	129	アジ類、カツオ、マグロ類
	地方卸売市場(株)小林魚市場	322	293	286	261	ブリ類、アジ類、マグロ類
	都城市公設地方卸売市場(株)都城中央魚市場	902	610	900	570	ブリ類、アジ類、マグロ類
	小 計	13,165	8,770	14,760	8,849	
産地市場	北浦漁業協同組合地方卸売市場	56,818	6,190	67,975	6,015	サバ類、イワシ類、ブリ類
	島浦町漁業協同組合地方卸売市場	8,099	628	13,357	768	サバ類、イワシ類、ブリ類
	延岡市漁業協同組合地方卸売市場	453	266	276	140	シラス、アオメソ、タチウオ
	庵川漁業協同組合地方卸売市場	1,037	635	1,321	611	イワシ類、アジ類、タチウオ
	門川漁業協同組合地方卸売市場	189	101	169	83	シラス、ハモ、カツオ
	日向市漁業協同組合地方卸売市場	972	432	927	429	マグロ類、タチウオ、サワラ
	川南町漁業協同組合地方卸売市場	324	213	253	142	シイラ、サワラ、ニベ類
	日南市漁業協同組合地方卸売市場	1,941	1,911	1,795	1,856	マグロ類、シイラ、トビウオ類
	南郷漁業協同組合地方卸売市場	2,786	1,178	3,044	1,157	カツオ、マグロ類、アジ類
	串間市東漁業協同組合地方卸売市場	26	13	21	6	トビウオ類、タイ類
	串間市漁業協同組合地方卸売市場	94	131	87	142	シラス、エビ類、タイ類
	都農町漁業協同組合地方卸売市場	68	38	39	32	フグ類、タイ類、ハモ
	小 計	72,813	11,739	89,264	11,381	
合 計	85,978	20,509	104,024	20,230		

出典：地方卸売市場実態調査

水産物取扱量



水産物取扱高



※平成26年度分調査より、市場を通過しない養殖生産物は計上していない。

### (3) 水産物輸出の現状

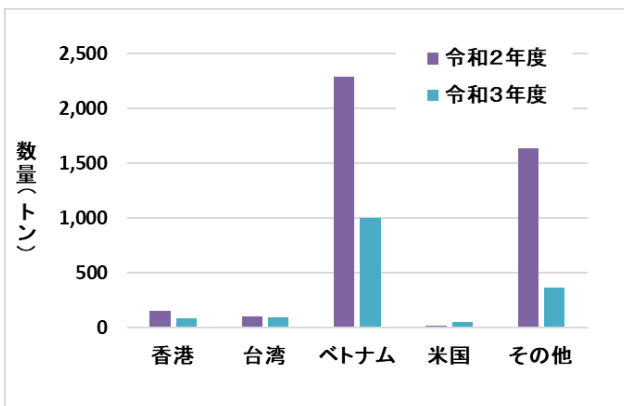
令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、輸出入が停滞したことや輸出の主要な品目であるサバ等の漁獲量が減少したことに伴い、輸出数量が合計1,582トン（対前年比37.8%）、輸出金額が合計766,165千円（対前年比76.3%）と大幅に減少しました。

#### 1) 輸出先国別の水産物輸出数量と輸出額の推移（概数）

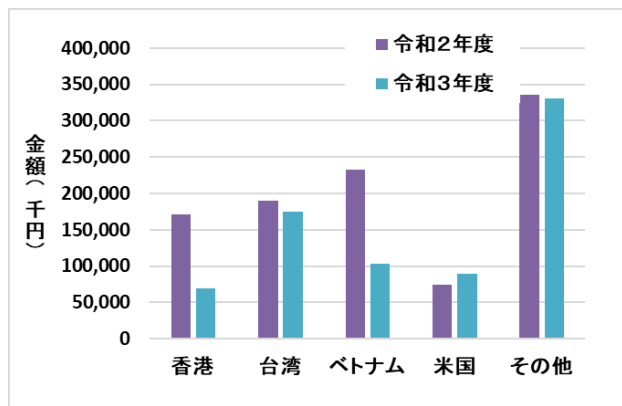
年度		令和2年度		令和3年度		前年対比	
国	主要品目	数量 (t)	金額 (千円)	数量 (t)	金額 (千円)	数量	金額
香港	ブリ、加工品(キャビア、ウナギ)、その他鮮魚等	153	171,632	85	68,763	55%	40%
台湾	ブリ、サバ、ボラ、加工品(キャビア)、その他鮮魚等	105	189,415	89	174,541	85%	92%
ベトナム	ブリ、サバ、ボラ、その他鮮魚等	2,284	232,935	997	102,720	44%	44%
米国	ブリ、加工品(ウナギ)、その他鮮魚等	15	74,549	50	89,215	334%	120%
その他	ブリ、サバ、加工品(しらす、キャビア)、その他鮮魚等	1,631	336,265	360	330,926	22%	98%
合計		4,188	1,004,796	1,582	766,165	38%	76%

出典：水産政策課調べ

国別輸出数量



国別輸出額



#### 2) 主要登録必要国の認定・登録施設数

	国名	全国	宮崎県	うち、HACCP 認定施設
認定施設	アメリカ	557	5	5
認定施設	EU	103	1	1
登録施設	中国	1,071	6	
登録施設	ロシア	425	3	
登録施設	ウクライナ	174	2	
登録施設	ナイジェリア	177	3	
登録施設	ブラジル	55	1	
登録施設	ベトナム	767	6	
登録施設	インドネシア	310	4	

出典：水産政策課調べ（令和4年8月現在）



## 4 生産基盤

### (1) 適切な資源管理の推進

#### 1) 新たな資源管理体制の構築

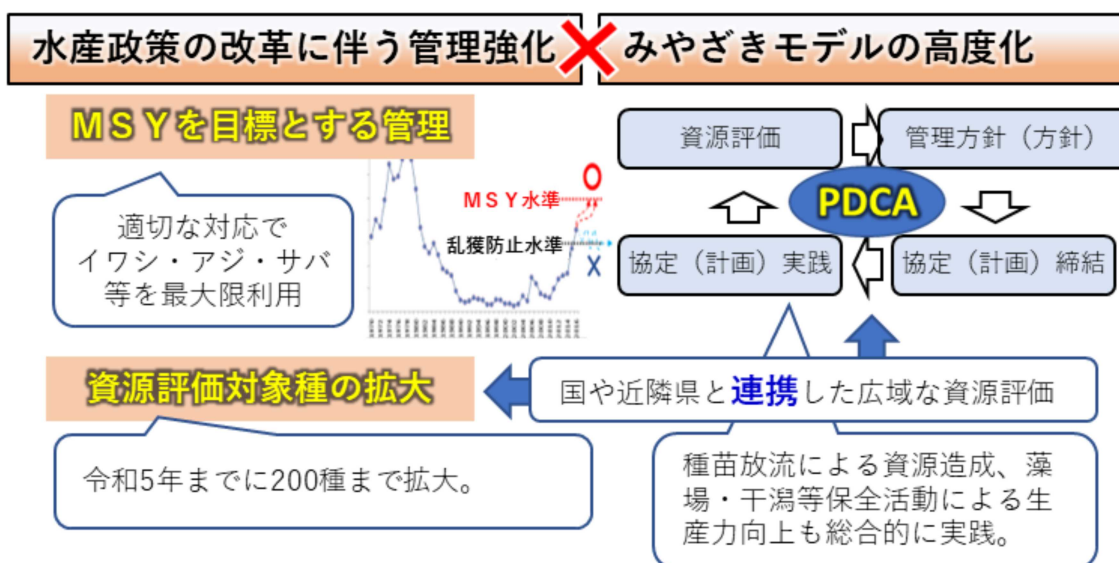
令和2年12月に改正漁業法が施行され、新たな資源管理基本方針に基づく資源管理が始まりました。

具体的には、日本で水揚げされる主要な水産資源について、種類毎等に資源評価を行い、評価結果に基づき漁獲可能量を決め、資源を持続的かつ効率的に活用する仕組みを強化していくものです。国は令和5年度末までに資源評価対象種を200種類程度まで拡大していくこととしています。

これまで漁業者は、規則や漁業者間での取り決めに基づく休漁や漁具制限等による資源管理を行ってきましたが、今後は、漁業種類毎に「資源管理協定」を策定し、自らが行う資源管理に関する取組について、適宜、取組効果の検証・改善を行いつつ、資源を維持・回復しながら漁業を継続していくこととなります。

本県では、これら新たな資源管理に対応するために資源管理方針を改定し、第六次宮崎県水産業・漁村振興長期計画の大きな柱の一つである『水産資源の最適な利用管理と環境保全への対応』のため、従前から行ってきた本県独自の資源管理体制（みやざきモデル）を強化していきます。

また、これまでそれぞれの事業として実施してきた種苗放流や藻場・干潟の保全活動、水産基盤整備事業等については、これらに関連させることで資源管理対策に重要な役割を果たしたり、より大きな効果が見込まれることから、今後、総合的に実践していきたいと考えています。



#### 2) 令和3年度の資源評価結果と資源管理方針の改定

本県沿岸の水産資源の状況について、令和3年度（第11回）宮崎県資源評価委員会において10魚種の評価を行いました。評価の結果、資源状況が高位の魚種が2種、中位が6種、低位が2種となり、前回の評価から資源状況が悪化した種が2種ありました。

また、本県でこれまでに資源評価を行った25種のうち、特に管理等が必要な14種について資源管理方針に追加しました。「資源管理協定」では、これらのうち少なくとも1種以上の資源管理に取り組むこととなります。

### 3) 積極的な増殖措置（稚魚の放流等）

人工的に生産した稚魚の放流や、漁獲された小型魚を再び海に戻すなどの取組によって、沿岸資源の積極的な回復を推進しています。令和3年度は、ヒラメの放流を行ったほか、アカアマダイの人工種苗の量産化や種苗放流技術の確立に向けた試験を行いました。トピックスでも紹介したように、シロアマダイの種苗生産にも取り組み、一定の成果も得られています。

#### 種苗放流



ヒラメ  
写真1,2  
ひれの切込み（標識）  
と再捕された1歳魚



アカアマダイ  
写真3,4  
再捕された標識魚と  
再生していない左腹びれ

### 4) 藻場・干潟等の保全活動

藻場や干潟、サンゴ礁は、様々な生き物の成育場や繁殖の場として利用されていますが、環境の変化等により、各地で藻場の減少や干潟・サンゴ礁の荒廃等が問題となっています。そのため、県内各地で漁業者を中心としたグループが、食害生物の駆除や清掃活動等を行い、藻場や干潟等が持つ多面的機能の保全活動に取り組んでいます。

#### 藻場・干潟等保全活動

市町村名	主な活動組織名	実施計画面積	主たる活動項目
延岡市	島野浦サンゴ礁保全会	8.0ha 3.2ha	サンゴの移植、食害生物の除去 漂流、漂着、堆積物処理
	南浦藻場保全会	5.5ha	食害生物の除去(ウニ類) 母藻の設置
	妙見湾干潟保全会	9.7ha	干潟の耕うん 稚貝等の沈着促進
門川町	庵川藻場干潟保全会	3.46ha 5.0ha	食害生物の除去、保護区域の設定 漂流、漂着、堆積物処理
	門川湾を再生する会	1.25ha 5.0ha	食害生物の除去、保護区域の設定 漂流、漂着、堆積物処理
日向市	平岩採介藻グループ	9.4ha	食害生物の除去(魚・ウニ類) 浮遊堆積物の除去
川南町	川南漁場保全活動組織	9.77ha	漂流、漂着、堆積物処理 モニタリング
日南市	目井津地域活動組織	1.23ha 1.65ha	食害生物の除去、母藻の設置 漂流、漂着、堆積物処理
	外浦地域活動組織	0.5ha 1.1ha	食害生物の除去(ウニ類) 漂流、漂着、堆積物処理
串間市	串間市崎田地区藻場保全部会	6.0ha	食害生物の除去(ウニ類) 母藻の設置
日南市 串間市	日南海岸サンゴ群集保全協議会	23ha	食害生物の除去(オニヒトデ) モニタリング

## (2) 保護水面

水産資源の生息環境を良好な状態で保全し、維持するとともに、対象生物を積極的に保護培養することにより、生産基盤の確保と資源の維持増大を図っています。本県では水産資源保護法に基づき、下記の区域を保護水面として指定し、保護を進めています。

名称	区域	指定年月日	面積・長さ
チョウセンハマグリ	日向市地先	昭和43年10月16日	1.32 km <sup>2</sup>
アユ	延岡市五ヶ瀬川	昭和41年12月13日	22 km

## (3) 内水面資源の増殖

内水面漁協は内水面漁場管理委員会指示に基づきウナギ、アユ、ヤマメ等の放流を行うほか、各漁協の自主的な放流を実施しています。また、県では、ヤマメ、ウナギ、アユ等の放流や魚道改良、産卵場造成、石倉設置等による資源の増殖を支援しています。

河川放流実績

単位：尾

年度	アユ	ウナギ	コイ	フナ	ヤマメ	モクズガニ
H24	4,646,160	176,150		58,610	833,250	113,820
H25	4,709,900	213,950		61,114	780,867	163,160
H26	4,657,260	568,080		28,600	732,669	145,812
H27	4,356,720	516,500		30,000	780,448	131,160
H28	3,848,000	99,540		15,600	735,298	124,960
H29	3,876,020	103,638		26,800	714,421	126,660
H30	3,625,280	68,527	9,380	16,800	688,684	105,080
R元	4,252,020	79,694	240	30,027	666,251	75,680
R2	3,962,940	90,912	11,181	28,471	548,844	119,460
R3	4,068,060	100,413	551	28,288	644,006	124,448

※放流尾数の把握が困難な魚種については、放流数量を1尾当たりの重量で除して算出  
(換算値：アユ5g/尾、ウナギ10g/尾 (H28からは50g/尾)、モクズガニ25g/尾)

出典：漁業管理課調べ



アユの放流



産卵床造成



石倉

## (4) 水産基盤（漁港・漁場）の整備

### 1) 漁場

本県沿岸地形は単調で、湾入に乏しく、また海底地形においても天然礁に恵まれず、魚類等の滞留性に欠けるため、従来から魚礁設置及び増養殖場造成等の基盤整備事業を展開してきました。

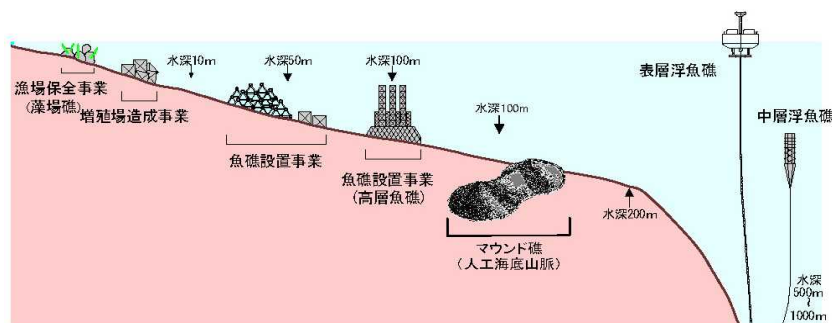
本県では、昭和51年度から平成13年度まで実施した沿岸漁場整備開発事業と平成14年度に着手した水産基盤整備事業により魚礁漁場、増殖場、養殖場の造成や漁場の保全を積極的に推進してきました。

平成21年度からは、本県初となる、マウンド礁（人工海底山脈）を2地区整備し、資源の基礎生産力の向上を図ってきました。

令和3年度は、沿岸資源の生活史に対応した良好な生息環境を創出するため、既存魚礁の機能強化や藻場礁の整備を実施しました。

漁場整備種類毎の整備実績（令和3年度末時点）

種類	概要	整備実績
漁場保全	養殖場の海水交換を促進するための浚渫、藻場造成	36 ha
増殖場造成	水産生物の隠れ場、産卵の場等を供給するための環境改善	511 ha
魚礁漁場造成	既存の漁場、天然礁を補完するためのコンクリートブロック等の耐久性資材による魚礁の設置	3,062 千空m3
養殖場造成	養殖漁場の拡大を行うための消波堤の設置	273 ha
マウンド礁	人工海底山脈の造成により整備される漁場	121,771 空m3



日向灘における一体的な漁場整備イメージ図



魚礁整備による既設魚礁の機能強化  
（日向灘沿岸漁場 延岡工区）



水産試験場が開発した海藻増殖機能付加型藻場礁を使用した藻場礁整備  
（日向灘沿岸漁場 門川工区）

## 2) 漁港

漁港整備長期計画の経緯（修築・改修・水産基盤整備）

計画名	総事業費(千円)	漁港名
第1次整備	284,850	油津漁港外 5漁港
第2次整備	803,983	青島漁港外 8漁港
第3次整備	1,278,516	青島漁港外 11漁港
第4次整備	1,879,698	油津漁港外 13漁港
第5次整備	3,237,593	門川漁港外 14漁港
第6次整備	10,622,620	目井津漁港外 16漁港
第7次整備	15,635,572	目井津漁港外 14漁港
第8次整備	20,612,972	北浦漁港外 14漁港
第9次整備	33,501,923	島野浦漁港外 20漁港
第1次漁港漁場整備	16,382,831	川南漁港外 17漁港
第2次漁港漁場整備	9,849,743	川南漁港外 16漁港
第3次漁港漁場整備	8,740,366	北浦漁港外 20漁港
第4次漁港漁場整備	12,776,698	北浦漁港外 21漁港

第4次漁港漁場整備長期計画（平成29年度～）

事業名	事業港数	漁港名
水産流通基盤整備事業	1	北浦漁港
水産生産基盤整備事業	2	川南漁港外 1漁港
水産物供給基盤機能保全事業	14	島野浦漁港外 13漁港
漁港施設機能強化事業	8	島野浦漁港外 7漁港
漁港機能増進事業	11	土々呂漁港外 10漁港
港整備交付金	3	市木漁港外 2漁港
農山漁村整備交付金	9	青島漁港外 8漁港

漁港の種類

漁港名	北 浦	宮之浦	島野浦	土々呂	門 川	油 津	目井津	南 浦
種 類	4	4	3	3	3	3	3	2
漁港名	川 南	青 島	大堂津	都 井	都 農	富 田	野 島	鶯 巣
種 類	2	2	2	2	1	1	1	1
漁港名	富 土	宮浦(鶯戸)	鶯 戸	夫婦浦	市 木	本 城	福島高松	
種 類	1	1	1	1	1	1	1	

※ 1種11港、2種5港、3種5港、4種2港

第1種漁港…その利用範囲が地元の漁業を主とするもの

第2種漁港…その利用範囲が第1種漁港よりも広く、第3種漁港に属しないもの

第3種漁港…その利用範囲が全国的なもの

第4種漁港…離島その他辺地において漁場の開発又は漁船の避難上特に必要なもの

## (5) 共同利用施設の整備

水産物の安定供給の確保と水産業の健全な発展を目的に、水産業強化支援事業(浜の活力再生交付金等)を活用し、漁業生産環境の改善に必要な施設の整備及び持続的な漁業生産体制を構築するのに必要な共同利用施設等の整備を進めており、令和3年度は、県漁連の製氷施設整備への補助を行いました。

また、ロケット打ち上げに伴う種子島周辺海域での操業規制の影響緩和を目的とした種子島周辺漁業対策事業により、令和3年度は、北浦漁協の上架施設更新、島浦町漁協の給油タンク更新、南郷漁協の加工施設改修など、計13件の共同利用施設整備への補助を行いました。

### 1) 荷さばき施設

荷さばき施設とは、漁獲物の選別、計量、入札までの保管、入札、荷造り、発送等の作業を行う施設です。県内22港(※)に整備されています。

(※共同利用施設のある県内の漁港、港湾の数です。)



島浦町漁協の衛生管理型荷さばき施設と魚函積機

### 2) つきいそ

つきいそとは、魚介類の生息や増殖のための基盤を自然石やコンクリートブロックで造成する施設です。



日南市沖に投入する前のコンクリートブロックとブロックに蟻集する魚類

### 3) プレジャーボート係留施設

プレジャーボート係留指定施設とは、漁船の営業活動を円滑にするため既存施設の一部をプレジャーボートの係留場所として整理するもので、22漁港に設定されています。



都農漁港

### 4) 地域産物販売提供施設

地域産物販売提供施設とは、地産地消を推進し、魚食普及や消費拡大等を目的に直販施設や地域水産物を提供する食堂を整備した施設です。県内9箇所に整備されています。

施設名	開設者	形態	開設年月
魚乃里 ぎょれん丸	宮崎県漁連	直販所、レストラン	H19. 1
ふれあい館	島浦町漁協	直販所	H15. 4
うみすずめ	門川漁協	直売所、レストラン	H17. 2
海の駅 ほそしま	日向市漁協	直販所、レストラン	H20. 11
直売所 通浜	川南町漁協	直販所	H27. 3
漁師の味 港あおしま	宮崎市漁協	直販所、レストラン	H15. 3
港の駅 めいつ	南郷漁協	直販所、レストラン	H17. 2
港の駅 いままち	串間市漁協	直販所	H26. 7
JF日南市 はまっこ	日南市漁協	直販所	R 3. 3



JF日南市「はまっこ」(R3. 3月開設・R2年度種子島周辺漁業対策事業)

## (6) 漁業の免許・許可

### 1) 漁業権漁業

海面における漁業権は、定置漁業11件、区画漁業21件、共同漁業35件が免許されています。定置漁業は県北及び県南においてブリ等を対象に、区画漁業は県北のリアス式海岸や串間市地先でブリ、カンパチ、タイ等の魚種を主体に営まれています。また、共同漁業はアワビ、ウニ漁業等の第1種、小型定置や磯建網漁業等の第2種が営まれています。内水面における漁業権は、区画漁業が8件、共同漁業が31件免許されています。区画漁業は一つ瀬川においてコイ養殖が営まれています。また、共同漁業はアサリ、ハマグリ、シャコ漁業等の第1種、アユ、コイ、ウナギ、ヤマメ、モクズガニ漁業等の第5種が営まれています。

#### 海面における漁業権数

漁業権名	定置漁業権		区画漁業権						共同漁業権				
漁業種類	定置漁業	合計	第1種区画漁業						合計	第1種共同漁業	第2種共同漁業	第3種共同漁業	合計
漁業の名称	ぶり雑魚定置漁業		魚類式養殖業	小割式養殖業	くろまぐろ小割養殖業	式式養殖業	垂下式養殖業	藻類養殖業		真珠養殖業	あわび等漁業	雑魚小型定置漁業	
件数	11	11	(15)	(1)	(16)	(4)	(1)	21	18	17	0	35	

(注)区画漁業権については、複数の区画漁業を同一区画漁業権として管理する方式へ変更したため、合計と合致しない

#### 内水面における漁業権数

漁業権名	区画漁業権		共同漁業権		
漁業種類	第1種区画漁業	合計	第1種共同漁業	第5種共同漁業	合計
漁業の名称	こい小割式養殖業		あさり漁業等	あゆ漁業等	
件数	8	8	10	21	31

### 1) 許可漁業等

許可漁業には、大臣許可漁業及び知事許可漁業等があり、1,588件が許可されています。大臣許可漁業は、本県の主幹漁業の一つであるかつお・まぐろ漁業が主体であり、大型船は県南地区を主体に、また、20トン未満船は日向、川南、日南地区等で多く営まれています。知事許可漁業は、下表のとおり種々ありますが、イワシ、アジ、サバを対象とする中型まき網漁業は県北地区を主体に営まれるとともに、その他大半の漁業は各種許可漁業や自由漁業との組み合わせにより営まれています。

また、海区漁業調整委員会による届出・承認漁業として、あまだいはえ縄届出と浮魚礁利用承認の2種類があり、321件が届出・承認されています。

#### 大臣許可（認可も含む）

種類	かつお・まぐろ			沖合底ひき網	大中型まき網	小計	沿岸まぐろはえ縄(届出)	合計
	遠洋(120トン以上)	新近海(10～120トン)	新小型(10～20トン)					
件数	5	26	63	0	2	96	29	125
経営体数	5	23	54	0	2	84	28	112

#### 知事許可

種類	中型まき網	小型まき網	小型底びき	機船船びき	棒受網	流し刺網	まき刺網	固定式刺網	うなぎ稚魚	その他	合計
件数	26	25	116	50	24	171	140	143	698	70	1,463

#### 海区漁業調整委員会承認漁業

種類	あまだい延縄届出	浮魚礁利用承認
件数	67	254

(R4.3月現在)



## (7) 漁船の安全操業の確保

### 1) 本県の現状

「船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則」が改正され、平成30年4月1日から、小型船舶の船室外の全ての乗船者がライフジャケットの着用義務の対象となりました。しかしながら、県内では依然として海難事故が発生し、尊い人命が失われていることから、効果的な海難事故対策が必要です。

特に、近年にあっては死亡を伴う海難事故の発生が増加傾向にあることから、油津漁業無線局を通じた気象等の情報提供のほか、海上保安部（署）、漁船保険組合などの関係機関と連携して、海難防止講習会の開催、漁船海難防止強調運動の実施など、救命胴衣着用率向上に係る取組を実施しています。

### 2) 漁業無線局



本県には宮崎県無線漁業協同組合連合会が運営する油津漁業無線局と、漁協などが運営する海岸局（島野浦、門川、川南、青島、串間）の計6つの漁業無線局があります。

油津漁業無線局は、超短波、中短波、短波無線を有し、24時間体制で日本の東方、南方漁場及び諸外国200海里水域で操業するかつお・まぐろ漁船に対して、生命財産を守るための航行・安全等に関する情報や漁場における漁海況、市況等の漁業情報の伝達を行うことにより、本県漁船の安全で効率的な操業に貢献しています。

油津漁業無線局以外の5つの海岸局は超短波の1ワット無線を使用し、本県沿岸で操業する漁船との通信により、本県漁船の安全操業に貢献しています。

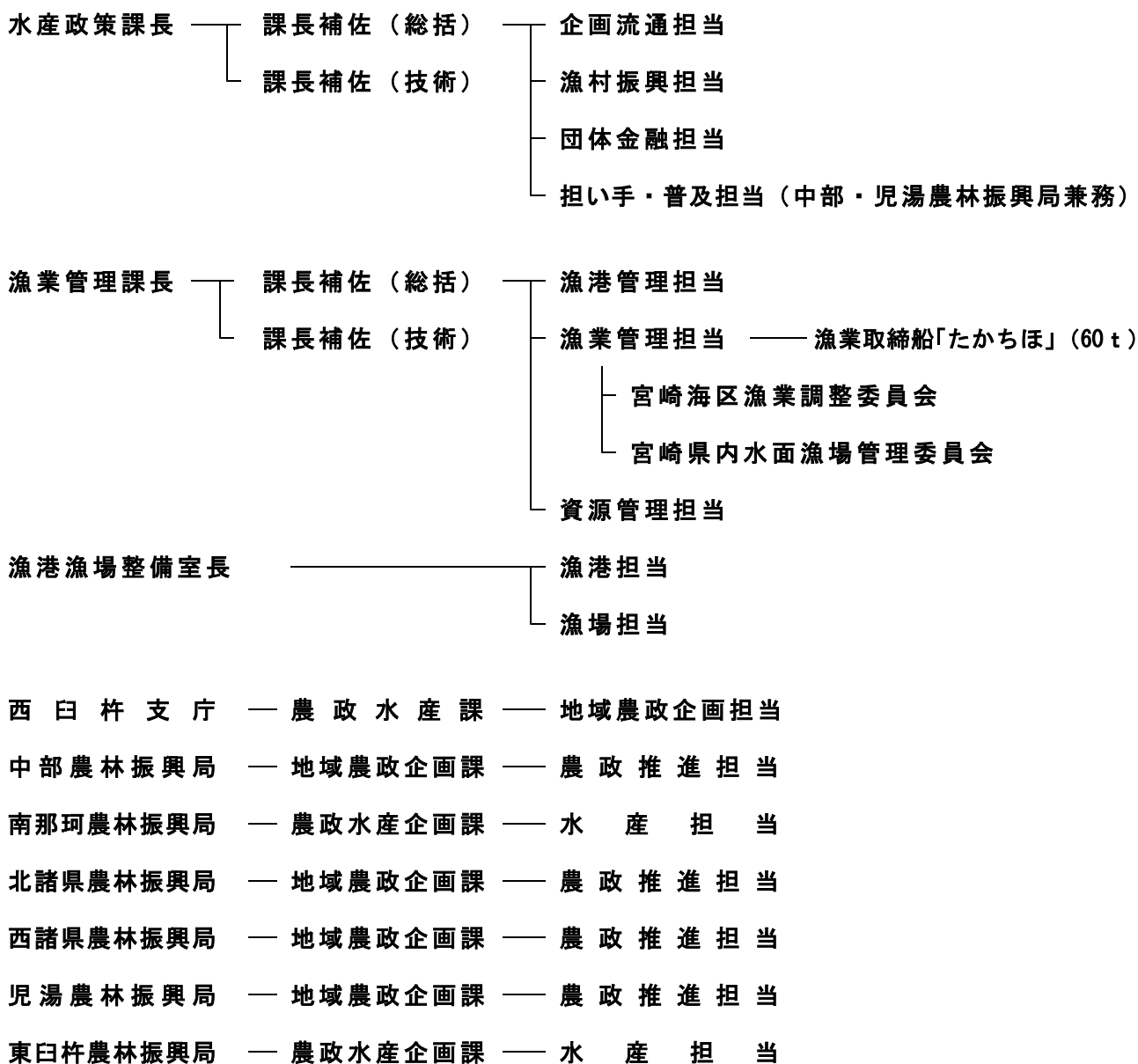
油津漁業無線局を統制局として他の5つの漁業無線局は専用回線で結ばれており、夜間や漁協が休みの時には、統制局である油津漁業無線局が一括聴守する超

短波の24時間聴守体制が確立しています。

このネットワークを活用し、平成21年度には漁船救助支援システムを整備しました。これは、漁業者が海中に転落するなどの緊急事態が発生した際、船から即座に救急信号が発せられ、それを無線局が聴守し漁船の位置をシステムの画面上に表示するというものです。整備後は、定期的な通信試験を行うなど、システムの適切な管理運営を行うことで、業業者の安全操業に寄与しているところです。

# 第 II 章 水産行政組織の概要及び分掌事務（令和 4 年度）

## 1 組織概要



## 2 主な分掌事務

### 水産政策課

#### 企画流通担当

- 水産行政の企画及び総合調整に関すること
- 水産物の流通及び加工に関すること
- 水産物の輸出に関すること
- 水産統計に関すること
- 水産試験場に関すること
- 鯨類の漂着時の報告に関すること
- 課の予算及び決算に関すること

#### 漁村振興担当

- 地域漁業改革の推進に関すること
- 海面漁業の振興に関すること
- 内水面漁業の振興に関すること
- 養殖漁場環境保全（赤潮発生対策等）に関すること

#### 団体金融担当

- 水産業協同組合の指導及び検査に関すること
- 水産金融に関すること
- 漁業共済に関すること
- 漁業経営対策に関すること

#### 担い手・普及担当

- 漁業の担い手に関すること
- 水産業改良普及事業に関すること
- 県立高等水産研修所に関すること

## 漁港管理担当

- 課の予算及び決算に関すること
- 漁港区域及び海岸保全区域の指定に関すること
- 漁港及び海岸の監理に関すること
- 漁港統計に関すること
- 工事費等の契約事務に関すること
- 漁港における防災窓口に関すること
- 宮崎県漁港漁場協会に関すること

## 漁業管理担当

- 漁業権に関すること
- 漁業の許認可に関すること
- 漁業の調整及び取締りに関すること
- 漁船に関すること
- 遊漁船業に関すること
- 海区漁業調整委員会、内水面漁場管理委員会に関すること
- 漁業無線に関すること

## 資源管理担当

- 資源管理に関すること
- 栽培漁業に関すること
- 水産資源の保護及び漁場の保全に関すること
- 漁獲可能量制度に関すること
- 宮崎県資源管理協議会に関すること

## ◎ 漁港漁場整備室

### 漁港担当

- 漁港及び海岸保全施設の建設に関すること
- 漁港、漁港海岸の災害復旧に関すること

### 漁場担当

- 漁場の計画及び漁場事業の実施に関すること
- 水産業協同利用施設の整備に関すること

### 3 県立高等水産研修所

#### 1) 研修体制

県立高等水産研修所は、古くは昭和13年に設立された漁村道場宮崎県水産講習所を起源として、後に遠洋漁業指導所練習生制度や宮崎県水産講習所等の変遷を経て、平成9年度に現在の県立高等水産研修所と名称を変更しました。新規就業者の養成部門では、漁船の運航に関して航海コースと機関コースでの専門教科と実践的な実習に重点を置いた教育を行うとともに、漁業従事者や一般県民向けの研修部門を設け、水産業・漁業に関する先進技術習得や生涯学習を行う事ができる開かれた研修機関です。

#### 2) 養成部門の教育方針と目標

養成部門では、水産業を取り巻く諸事情の変化の中で、新しい時代の要請に対応し得る実践力に優れた漁業就業者を養成するために、基礎的な技術や知識、体力・精神力を養い、漁業を行う上で必要な資格を短期間で取得することを目標としています。また、全寮制による共同生活や水産試験場調査取締船「みやざき丸」での乗船実習等を通して、自立心、協調性、責任感を養います。

#### 3) 養成部門の教育体系と取得可能な免許・資格

区分		修業期間	定員	入所資格	取得可能な免許・資格
専攻科	本科	1年間 (4月～翌年3月)	15人程度	中学校を卒業した者又はこれと同等以上の学力を有すると認められる者	第四級海上無線通信士 第一級海上特殊無線技士 四級又は五級海技士筆記試験 二級小型船舶操縦士
	前期	6か月間 (4月～9月)	若干名	高校卒業者又はこれと同等以上の学力を有すると認められる者、本科を修了した者	第四級海上無線通信士 第一級海上特殊無線技士 一級小型船舶操縦士
					四級又は五級海技士筆記試験 一級小型船舶操縦士
		2か月間 (10月上旬～12月上旬)	20人程度		四級又は五級海技士筆記試験 若しくは筆記・口述試験
後期	6か月間 (10月～翌年3月)	若干名		四級又は五級海技士筆記試験 一級小型船舶操縦士	
短期	2か月間 (10月上旬～12月上旬)	20人程度		四級又は五級海技士筆記試験 若しくは筆記・口述試験	

専攻科は、必要な資格・免許により、前期・後期・短期の選択ができます。

また、前期修了後に引き続き後期へ、あるいは後期修了後に引き続き前期への入所が可能です。

#### 4) 入所者数の推移

単位：人

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
本科生	10	7	8	10	10	8	4	10	6	9
専攻科生 (前期・後期)	1	5	3	2	2	1	2	2	1	2
合計	11	12	11	12	12	9	6	12	7	11



## 5) 研修部門の内容

研修部門では、既に漁業へ従事している方が資格取得や先進技術を学びスキルアップを図るための講習と、一般県民や児童・生徒が海や漁業に対する親しみと理解を深めるための体験講座を中心に実施しています。

種類	講習名	研修内容	対象者	定員(人)	回数(回)	期間(日)
資格取得研修	二級小型船舶操縦士養成講習	資格取得のための研修	漁業従事者等	10	1	5
	一級小型船舶操縦士養成講習	資格取得のための研修	漁業従事者等	10	1	5
	第四級海上無線通信士養成講習	資格取得のための研修	漁業従事者等	20	1	17
	第一級海上特殊無線技士養成講習	資格取得のための研修	漁業従事者等	20	1	7
先進技術研修	資源回復関連講習	資源管理対象種の資源状況や種苗放流等に関する研修	漁業従事者等	20	1	1
	漁業情報関係講習	漁海況情報等の内容や取得・利用方法の研修	漁業従事者等	20	1	1
国際漁業研修	外国人研修生講座	漁船の運航技術、機関や機器の取扱、ロープワークや漁具作成等の実技	県内漁協が受け入れた外国人技能実習生等	90	0	3
県民漁業研修	漁業体験講習	水産業に関する一般知識、ロープワーク、漁具作成、実習船で宿泊等体験学習講座	一般県民、児童・生徒	20	1	1
	20			1	2	



### 県立高等水産研修所ホームページ

<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/nosei/suisan/kenshujou/>

### ブログ「県立高等水産研修所日記」

<https://ameblo.jp/kotosuisan-kenshujou/>

## 4 水産試験場

### 1) 試験研究体制

明治36年に水産試験場を設置、その後昭和22年に遠洋、沿岸、淡水の各漁業指導所となり、昭和45年に水産試験場を宮崎市青島に再設置、各指導所は廃止し、日南分場（昭和62年廃止）、延岡分場（(財)宮崎県栽培漁業協会の発足に伴い平成4年に廃止）、小林分場を設置。平成26年に組織改正を行い、研究部署を再編し、小林分場を内水面支場に改組しました。調査取締船みやざき丸は平成15年に竣工し、日本近海の漁業資源調査に従事しています。



### 2) 主な研究内容

#### 研究企画

水産関係者等の意見を集約して、水産業振興に必要な技術開発内容を整理し、「県農政水産部技術調整会議」で課題化します。同時に、研究成果の評価を受け、これを水産関係者に迅速に還元するとともに、水産試験場の活動内容を広く周知するために、研究成果発表会の開催、成果情報の配布、各種イベント等での研究紹介、ホームページでの情報提供などを行っています。



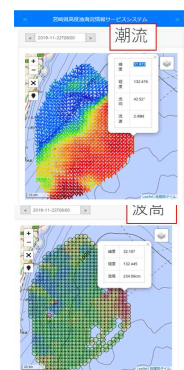
宮崎県水産試験場ホームページ

<http://www.mz-suishi.jp/>

#### 資源部

持続的な漁業生産を実現するため、イワシ・アジ・サバ類のような日本近海を回遊する広域資源や日向灘周辺の沿岸資源について、それぞれの特性に合わせた調査を実施し、資源の状況の評価するとともに、種苗放流による資源添加も含め、適切な資源利用となるよう管理技術の開発を行っています。

また、これらの資源の長期変動や来遊変化は、海洋環境の影響を受けるため、日向灘の海洋モニタリングによる現状把握と影響評価、「海の天気図」や「海洋レーダー」などの海況情報提供による漁業者の操業支援を行っています。



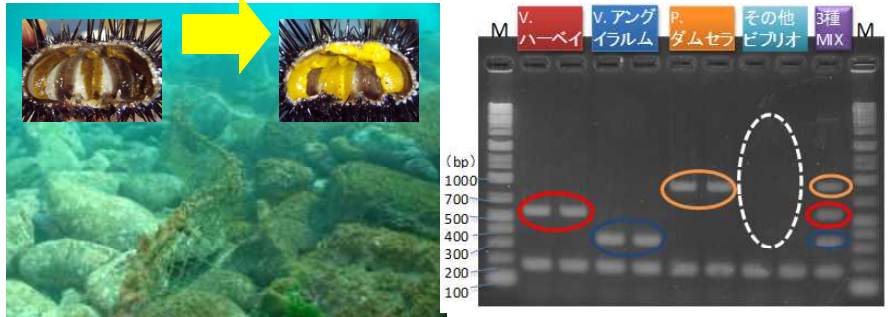
沿岸資源の評価結果(左)「海洋レーダー」による1時間毎の潮流・波高情報の提供(右)

## 増養殖部

水産資源を育て増やすために、産卵場や生育の場として重要な役割を果たしている藻場をはじめ、浅海域の環境を維持・修復するための技術開発を行っています。

また、人工種苗による資源造成・管理を可能とするため、対象種の種苗生産技術の開発を行っています。養殖業においては、収益性の高い飼育技術や健康な魚づくりのための疾病予防技術等を研究するとともに、赤潮被害の軽減や漁場の環境保全に関する研究を行っています。

さらに、国と連携してウナギ人工種苗生産につながる技術実証などにも取り組んでいます。



ウニ除去活動による藻場回復とウニの身入り向上（左）  
遺伝子解析による魚病診断や防疫技術の開発（右）

## 経営流通部

高収益漁業の構築と新規就業者の確保育成を図るため、経営実態の把握と収益性の分析、操業効率化技術の開発を行っています。漁業調査取締船「みやざき丸」は、日本近海域でのカツオ・マグロ漁場予測技術の検証と資源来遊状況調査を行っています。

また、水産物の付加価値向上や販路拡大のため、常温流通化や低利用資源の活用、鮮度保持など加工・流通技術の開発とともに、フード・オープンラボを運営し、水産食品に関する相談対応や市場開拓の取組を支援しています。



みやざき丸によるカツオのアーカイバルタグ標識放流（左）  
サブフレーク（常温流通加工品）試作の現地指導（右）

## 内水面支場

河川や湖沼の内水面の生物環境を保全するため、魚類等の生息状況や生育に適した環境について研究を進めています。

また、本県の内水面養殖を支援するため、チョウザメ等の人工種苗生産や養殖技術の改良を行っています。

さらに、近年資源の減少が心配されているアユ資源回復のため、環境DNA等も用いた総合的な調査を実施しているほか、国や他県と連携したウナギの生態調査を行っています。



採捕されたニホンウナギ〔眼後方にイヌマー標識〕（左上）  
河川資源調査（右上）  
チョウザメの種苗生産〔ロシアチョウザメ〕（左下）  
" "（ロシアチョウザメふ化仔魚）（右下）



# 第 Ⅲ 章

## 令和 4 年度水産当初予算における重点施策

### 水産政策課

- 1 漁業調査船みやざき丸新船建造事業** 1,184,399千円【企画流通担当】

人口減少社会に対応した生産環境創出に向け、老朽化した漁業調査船みやざき丸の新船を建造し、環境DNAといった先進的な調査研究や沿岸域における資源調査を実施するとともに、漁業者にリアルタイムで情報発信等を行うことにより、本県水産業の成長産業化を図る。
- 2 新たな養殖生産創出支援事業** 5,425千円【漁村振興担当】

現在、主に冬季に出荷されているブリについて、県内事業者が単価の高い夏季に出荷できる養殖生産を行えるようにするため、夏季採卵によるブリ人工種苗生産技術の導入・実証試験を行う。
- 3 水産業人材投資事業** 4,975千円【担い手・普及担当】

市町と連携し、国の次世代人材投資事業（漁業準備型）の交付対象とならない就業希望者を支援するとともに、漁業において、農業と同様に新規就業者に対する経営開始初期の経営安定対策を実施することにより、水産業への就業促進を図る。
- 4 海の担い手イオベーション事業** 17,270千円【担い手・普及担当】

漁業の成長産業化を牽引する人材を確保・育成するため、（公社）宮崎県漁村活性化推進機構を推進母体とし、スマート漁業を足がかりに多様な人材の確保・育成を図るとともに地域漁業の生産性向上に取り組む。
- 5 未来へつなぐ漁業担い手育成総合対策事業** 10,368千円【漁村振興担当】

本県水産業の生産性向上と持続性の両立による成長産業化を図るため、新規就業者の確保・育成や高収益型漁業への転換に係る経営指導などをワンストップで行う（公社）宮崎県漁村活性化推進機構の取組を総合的に支援する。
- 6 漁業資源継承支援体制構築事業** 2,579千円【担い手・普及担当】

次世代の沿岸漁業を担う漁業者の確保・育成を図るため、新規就業者へ漁業資源を円滑に継承する体制を構築するとともに、継承する漁船・漁具等の機能強化を支援する。

- 7 雇用型漁業労働力安定確保対策事業** 9,490千円【担い手・普及担当】  
 本県雇用型漁業における新たな外国人材の確保のため、「水際対策に係る新たな措置」に基づき発生する感染症対策経費を支援する。
- 8 新漁法モデル実証普及事業** 6,477千円【漁村振興担当】  
 漁業就業者の確保と確実な定着を図るため、沿岸漁業の生産量の確保や漁業の多角化が見込める新漁法をロールモデルとして提示し、県内に普及することで、就業者の収益向上や経営の安定を図る。
- 9 チョウザメ養殖経営安定対策事業** 4,253千円【企画流通担当】  
 本県のキャビア産業を支えるチョウザメ養殖業者の経営安定を図るため、養殖業者が連携した経営合理化に係る取組を支援するとともに、チョウザメ種苗の安定的な供給を行い、養殖業者の経営基盤の強化を支援する。
- 10 流通・販売イノベーション創出事業** 7,538千円【企画流通担当】  
 県内水産業の高収益化を図るため、新たなニーズに対応した販売方式等の取組や県産水産物のビジネス拡大に向けた中小加工業者等の販路開拓等を支援する。
- 11 養殖魚の安全・安心強化事業** 3,418千円【漁村振興担当】  
 養殖魚の伝染性疾病の発生・まん延防止に向け、養殖魚の防疫体制の充実や、飼育管理体制の強化、水産用医薬品の適正使用を推進することで、生産から流通・消費に至る一貫した養殖魚の安全・安心対策を強化する。
- 12 みやざきの内水面資源回復推進事業** 11,935千円【漁村振興担当】  
 内水面の水産資源の回復等を推進するため、全国初の取組となる発電事業を行う企業局との共同事業として、内水面漁協等の関係者と連携した資源調査や増殖活動等に取り組む。
- 13 養殖グリーン成長戦略推進事業** 10,182千円【漁村振興担当】  
 国の「みどりの食料システム戦略」を踏まえ、本県養殖業のグリーン化を促進するため、天然資源や漁場環境への負荷を軽減する持続可能な養殖業の構築を支援する。
- 14 漁業協同組合機能・基盤強化推進事業** 3,428千円【団体金融担当】  
 「宮崎県内漁業協同組合及び系統組織機能・基盤強化推進方針」に基づいて沿海漁協や系統団体が取り組む地域連携による事業の合理化等の機能・基盤強化の取組を支援し、漁業者が安心して漁業を継続できる環境を守る。

## 漁業管理課

- 1 水産基盤（漁場）整備事業** **291,200千円【漁場担当】**

海岸線が単調で天然礁にも恵まれない本県海域の漁場生産力の向上を図るため、魚礁漁場を整備し、漁業経営の安定・向上を図る。
  
- 2 水産業強化支援事業** **255,000千円【漁場担当】**

水産業の発展を実現するため、浜の活力再生プランに位置づけられた共同利用施設の整備等を支援する。
  
- 3 資源管理イオベーション推進事業** **15,666千円【資源管理担当】**

水産資源の最適な利用管理と環境安全への対応のため、国の水産政策の改革に基づく資源管理への適切な対応を図りつつ、P D C Aサイクルによる本県独自の資源の利用管理システムの高度化及び種苗放流による資源造成、藻場・干潟等漁場機能保全の取組みを総合的に推進し、本県漁業生産力の持続的な向上を図る。
  
- 4 うなぎ資源持続的利用対策事業** **59,184千円【漁業管理担当】**

資源の減少が指摘され、国際取引規制の恐れがあるニホンウナギの持続的な利用の確保に向け、国際的な体制の下で国が進めている資源管理や養殖業の規制管理を適正かつ円滑に進め、生産量全国第3位の位置にある本県ウナギ養殖業の持続的かつ健全な発展を図る。
  
- 5 水産基盤（漁港）整備事業** **1,694,427千円【漁港担当】**

安全・安心な水産物の安定供給を図るため、水産物の生産及び流通の基盤となる防波堤、係留施設等漁港施設の整備を推進するとともに、漁港施設の老朽化対策や地震・津波対策を重点的に進める。また、海岸保全施設の整備により、安全で安心な漁村環境が実現できる。
  
- 6 「美しい宮崎の港づくり」プレジャーボート適正管理強化事業** **11,138千円【漁港管理担当】**

県民共有の財産としての美しい宮崎の景観を守るため、「美しい港づくり」を推進し、漁港等におけるプレジャーボートの放置艇問題の解決を図る。また、プレジャーボート調査員を配置して、未申請者等対策を推進するとともに、係船環や周知看板等の環境整備を行い公共水域等の適正利用を促進する。
  
- 7 かつお・まぐろ漁業安全確保支援事業** **125,000千円【漁業管理担当】**

コロナ禍の影響を特に大きく受けているかつお・まぐろ漁業者に対して「整備・修繕の手控え」を防止し、安全性の確保を図るため、漁船の整備・修繕に係る費用の一部を支援する。

# 第 IV 章 資料編

※出典：令和 2 年漁業・養殖業生産統計

## 1 各種統計

### (1) 宮崎県の主要指標【海面】

	生産量 (トン)			生産額 (百万円)		
	漁業	養殖業	計	漁業	養殖業	計
H5	173,891	7,130	181,021	37,070	8,136	45,206
6	135,726	8,573	144,299	33,833	8,412	42,244
7	126,310	8,803	135,113	32,424	8,306	40,730
8	121,595	8,571	130,166	36,296	9,074	45,370
9	136,691	9,766	146,457	38,820	11,055	49,875
10	109,363	11,367	120,730	35,394	11,559	46,953
11	123,310	13,236	136,546	38,056	12,464	50,521
12	126,331	11,789	138,120	33,298	12,015	45,313
13	90,454	14,820	105,274	31,309	11,908	43,217
14	85,667	17,285	102,952	29,378	10,935	40,313
15	107,854	14,251	122,105	28,146	10,679	38,826
16	101,501	9,559	111,060	29,530	7,145	36,945
17	105,762	12,454	118,216	27,846	8,044	35,890
18	103,020	10,921	113,941	29,915	8,327	38,241
19	107,592	10,319	117,911	31,614	7,684	39,298
20	86,506	11,609	98,115	28,443	9,560	38,003
21	84,715	11,030	95,745	26,058	8,228	34,286
22	92,217	11,510	103,727	26,304	8,660	34,964
23	101,142	11,545	112,687	26,140	8,396	34,536
24	86,534	12,938	99,472	23,427	7,698	31,125
25	104,884	13,257	118,141	25,791	8,533	34,324
26	101,229	11,663	112,892	25,639	7,815	33,454
27	125,878	12,861	138,739	28,397	8,659	37,056
28	101,748	12,376	114,124	25,613	8,437	34,050
29	96,540	13,325	109,865	24,665	8,965	33,630
30	103,281	13,627	116,908	24,152	9,437	33,589
R元	100,130	13,038	113,168	22,901	9,378	32,279
2	118,947	13,339	132,286	22,388	8,513	30,901
3	100,176	14,560	114,736	20,454	10,758	31,212

### (2) 宮崎県の主要指標【内水面】

	生産量 (トン)		
	漁業	養殖業	計
H5	374	4,299	4,673
6	592	4,176	4,768
7	499	4,414	4,913
8	468	4,266	4,734
9	358	4,216	4,574
10	348	4,259	4,607
11	379	4,400	4,779
12	446	4,289	4,735
13	403	3,948	4,351
14	338	4,243	4,581
15	436	4,718	5,154
16	190	4,541	4,731
17	159	4,046	4,205
18	46	4,350	4,396
19	43	4,391	4,434
20	47	4,416	4,463
21	93	4,738	4,831
22	74	4,265	4,339
23	71	5,007	5,078
24	63	4,014	4,077
25	64	3,687	3,751
26	54	3,902	3,956
27	42	4,047	4,089
28	37	3,945	3,982
29	42	3,914	3,956
30	33	3,133	3,166
R元	39	3,604	3,643
2	33	3,252	3,285

※【海面】の令和 3 年は、宮崎県漁業協同組合連合会の漁業生産統計値を使用

(3) 漁業種類別漁獲量【海面漁業】

単位：トン

	小型底 びき網	ぱっち網	中小型 まき網	定置網	まぐろ はえ縄	かつお 一本釣	その他 の漁業	合計
H5	1,486	2,589	103,000	3,328	22,450	30,847	10,191	173,891
6	1,625	4,028	68,908	2,943	20,387	25,146	12,689	135,726
7	1,738	2,354	48,552	3,323	22,974	33,163	14,206	126,310
8	1,680	3,654	53,096	3,366	23,130	27,664	9,005	121,595
9	1,677	3,871	53,785	3,339	24,770	37,441	11,808	136,691
10	1,789	2,537	37,193	2,695	22,922	33,490	8,737	109,363
11	1,522	4,242	50,521	3,103	20,886	37,496	5,540	123,310
12	1,587	4,144	52,080	2,809	21,913	38,228	5,570	126,331
13	1,422	2,177	24,799	3,013	20,784	28,621	9,638	90,454
14	1,184	2,168	25,003	3,256	19,064	27,102	7,890	85,667
15	1,135	4,099	38,372	2,532	19,542	33,462	8,712	107,854
16	1,216	2,694	30,894	3,141	16,667	X	X	101,501
17	1,226	4,746	30,938	4,020	15,729	36,276	12,827	105,762
18	1,191	2,645	34,069	3,689	15,174	32,134	14,118	103,020
19	1,148	3,642	36,966	3,510	15,616	33,653	13,057	107,592
20	953	3,079	24,739	3,468	12,274	30,782	11,211	86,506
21	735	1,996	26,137	3,413	13,461	27,922	11,051	84,715
22	740	2,262	29,289	3,162	14,220	30,170	12,374	92,217
23	657	1,147	34,277	1,552	13,272	29,636	20,601	101,142
24	642	2,534	27,935	4,093	12,114	27,059	12,157	86,534
25	619	3,481	35,191	3,852	10,473	30,629	20,639	104,884
26	593	2,787	36,218	3,713	9,767	23,322	24,829	101,229
27	574	2,504	60,021	4,071	11,948	22,891	23,869	125,878
28	712	2,221	41,387	4,057	11,629	22,141	19,601	101,748
29	687	1,966	37,079	4,067	12,229	21,385	19,127	96,540
30	633	2,195	45,193	4,938	9,722	23,570	17,030	103,281

	小型底 びき網	ぱっち網	中小型 まき網	定置網	まぐろ はえ縄	かつお 一本釣	ひき縄	その他 の漁業	合計
R元	691	1,799	61,945	3,551	9,879	18,310	613	1,509	98,297
2	617	1,121	77,999	4,246	9,477	20,425	449	1,524	115,858
3	550	1,688	58,248	4,726	10,464	23,040	517	943	100,176

※平成19年以降は、宮崎県漁業協同組合連合会の漁業生産統計値を使用

(4) 漁業種類別生産額【海面漁業】

単位：百万円

	小型底 びき網	ぱっち網	中小型 まき網	定置網	まぐろ はえ縄	かつお 一本釣	その他 の漁業	合計
H5	888	991	3,906	1,311	17,146	8,753	3,988	37,070
6	1,024	1,500	3,656	1,212	14,233	8,572	3,637	33,833
7	821	987	3,743	1,197	13,612	8,405	3,659	32,424
8	855	1,291	3,666	1,405	14,935	11,320	2,824	36,296
9	966	1,610	3,480	1,309	15,175	12,533	3,747	38,820
10	909	1,035	3,116	1,088	15,216	10,738	3,293	35,394
11	674	1,383	2,977	1,427	13,830	14,956	2,809	38,056
12	639	1,167	3,315	1,259	15,236	8,733	2,949	33,298
13	570	723	2,211	1,241	13,206	9,861	3,496	31,309
14	517	1,009	2,302	1,193	11,670	9,754	2,933	29,378
15	489	1,073	2,559	956	11,772	8,520	2,776	28,146
16	508	1,067	1,981	1,087	11,716	X	X	29,530
17	489	1,448	2,140	1,339	10,567	8,761	3,102	27,846
18	497	929	2,137	1,442	11,107	10,234	3,569	29,915
19	456	1,381	3,228	1,178	11,032	9,191	2,620	29,085
20	360	575	2,069	896	6,961	8,291	2,727	21,879
21	303	600	2,170	1,086	8,735	8,430	2,217	23,542
22	285	684	2,333	1,009	9,330	8,224	2,056	23,921
23	250	349	2,704	1,138	8,292	9,084	1,995	23,811
24	254	809	2,053	1,233	7,893	8,677	1,822	22,742
25	232	1,005	2,941	1,256	7,147	8,997	1,744	23,322
26	230	875	3,959	1,308	6,683	7,894	1,794	22,743
27	250	883	3,867	1,416	8,655	8,689	1,847	25,607
28	267	764	3,310	1,418	8,293	8,097	1,822	23,971
29	275	754	3,230	1,419	8,216	7,375	1,151	22,420
30	230	914	3,382	1,585	7,401	7,416	1,153	22,081

	小型底 びき網	ぱっち網	中小型 まき網	定置網	まぐろ はえ縄	かつお 一本釣	ひき縄	その他 の漁業	合計
R元	233	654	4,415	1,362	8,251	5,767	413	1,438	22,533
2	172	493	4,673	1,295	7,503	6,609	264	1,129	22,138
3	158	452	3,394	1,314	8,299	5,681	304	852	20,454

※平成19年以降は、宮崎県漁業協同組合連合会の漁業生産統計値を使用

### (5) 魚種別漁獲量【海面漁業】

単位：トン

	まぐろ類	かつお類	いわし類	あじ類	さば類	その他魚種	合計
H5	26,293	22,409	81,342	17,311	12,296	14,240	173,891
6	24,494	20,504	62,899	11,445	6,244	10,140	135,726
7	28,203	26,517	35,603	19,056	3,915	13,016	126,310
8	31,684	17,754	25,824	12,849	22,489	10,995	121,595
9	32,125	28,422	31,563	13,836	18,086	12,659	136,691
10	26,772	26,128	23,407	14,758	3,188	15,110	109,363
11	25,762	28,539	45,437	4,667	5,083	13,822	123,310
12	26,142	33,338	42,523	7,490	6,597	10,241	126,331
13	24,390	23,101	17,120	12,032	1,918	11,893	90,454
14	24,141	22,329	16,788	11,866	681	9,862	85,667
15	23,254	29,266	23,339	9,063	13,765	9,167	107,854
16	25,346	23,337	20,074	16,235	5,035	11,474	101,501
17	20,695	31,537	13,621	9,340	20,046	10,523	105,762
18	21,507	27,743	19,255	6,225	17,571	10,719	103,020
19	29,939	20,261	29,901	3,988	14,457	9,046	107,592
20	20,981	23,199	13,270	6,411	13,666	8,979	86,506
21	24,887	16,409	19,983	4,119	11,099	8,218	84,715
22	17,161	27,520	13,550	3,983	19,860	10,143	92,217
23	20,830	21,198	21,566	5,015	20,054	12,479	101,142
24	21,436	17,123	19,729	4,386	14,886	8,974	86,534
25	21,295	18,614	34,813	6,979	13,588	9,595	104,884
26	18,728	12,458	36,474	5,145	17,494	10,930	101,229
27	19,001	14,080	62,823	5,365	15,098	9,511	125,878
28	17,034	14,726	42,072	11,007	6,538	10,371	101,748
29	18,533	12,249	18,982	11,923	21,353	13,500	96,540
30	16,448	14,621	16,998	8,121	35,481	11,612	103,281
R元	13,501	14,577	18,257	8,565	34,759	10,471	100,130
2	21,291	9,434	38,128	6,882	32,438	10,774	118,947

### (6) 魚種別生産額【海面漁業】

単位：百万円

	まぐろ類	かつお類	いわし類	あじ類	さば類	その他魚種	合計
H5	18,841	5,041	3,417	1,281	529	7,961	37,070
6	16,384	5,643	3,996	1,041	315	6,454	33,833
7	16,065	5,008	3,254	1,761	274	6,062	32,424
8	18,953	6,608	2,615	1,270	986	5,864	36,296
9	18,811	7,407	3,366	1,302	905	7,029	38,820
10	16,824	8,220	2,253	1,738	201	6,158	35,394
11	18,170	9,175	3,258	696	324	6,433	38,056
12	17,770	6,024	2,986	956	388	5,174	33,298
13	14,833	7,689	2,110	1,017	161	5,500	31,309
14	13,343	8,012	2,342	1,145	64	4,472	29,378
15	12,623	7,506	2,248	1,041	647	4,081	28,146
16	14,271	7,125	2,070	1,347	334	4,383	29,530
17	11,674	7,472	2,195	1,054	991	4,460	27,846
18	13,209	8,070	1,821	976	920	4,919	29,915
19	16,602	6,177	3,021	708	838	4,268	31,614
20	13,259	7,198	2,008	373	1,175	4,430	28,443
21	14,124	5,377	1,476	746	633	3,702	26,058
22	11,894	7,630	1,289	707	1,231	3,553	26,304
23	11,465	7,479	1,466	752	1,143	3,835	26,140
24	11,250	5,779	1,660	679	718	3,341	23,427
25	10,748	6,813	2,658	992	993	3,587	25,791
26	11,365	5,593	2,533	902	1,398	3,848	25,639
27	13,960	5,584	3,624	668	846	3,715	28,397
28	11,356	5,810	2,719	1,079	451	3,848	25,613
29	11,408	4,781	1,672	976	1,153	4,675	24,665
30	11,072	4,623	1,686	833	1,845	4,093	24,152
R元	9,681	4,162	1,783	1,064	2,259	3,952	22,901
2	10,506	3,287	2,180	733	1,946	3,736	22,388

## (7) 海面養殖業収穫量

単位：トン

	ぶり類	まだい	ひらめ	その他	合計
H5	4,259	2,067		804	7,130
6	6,250	1,623		700	8,573
7	6,911	1,100	152	640	8,803
8	6,238	1,629	149	555	8,571
9	7,609	1,489	139	529	9,766
10	9,221	1,420	93	634	11,367
11	10,073	2,214	91	859	13,236
12	9,353	1,640	100	1,371	12,464
13	12,803	1,218	129	670	14,820
14	15,824	760	189	512	17,285
15	12,959	793	171	328	14,251
16	8,274	797	X	X	9,559
17	11,366	621	X	X	12,454
18	9,551	771	X	X	10,921
19	8,992	476	193	658	10,319
20	10,534	552	168	355	11,609
21	9,954	X	166	X	11,030
22	10,122	887	141	360	11,510
23	10,223	709	157	456	11,545
24	11,757	684	173	324	12,938
25	12,155	609	108	385	13,257
26	10,816	506	105	236	11,663
27	11,656	791	80	334	12,861
28	11,370	590	63	353	12,376
29	11,917	955	70	383	13,325
30	12,304	875	73	375	13,627
R元	11,596	949	83	410	13,038
2	11,915	1,011	100	313	13,339

## (8) 海面養殖業生産額

単位：百万円

	ぶり類	まだい	ひらめ	その他	合計
H5	4,713	1,413		1,918	8,044
6	5,462	1,437		1,337	8,236
7	6,006	1,050	270	980	8,306
8	6,057	1,454	278	875	8,665
9	8,111	1,458	225	731	10,525
10	9,110	1,016	173	726	11,025
11	9,640	1,285	188	915	12,464
12	9,739	1,163	166	974	12,015
13	9,813	1,061	240	794	11,908
14	9,371	613	272	679	10,935
15	9,444	526	345	364	10,679
16	6,298	458	X	X	7,415
17	6,768	413	X	X	8,044
18	6,803	608	X	X	8,327
19	6,065	428	275	916	7,684
20	8,466	335	130	629	9,560
21	7,160	X	169	X	8,228
22	7,275	625	172	588	8,660
23	X	522	194	7,680	8,396
24	X	543	231	6,924	7,698
25	7,315	516	153	7,864	8,533
26	6,870	414	155	376	7,815
27	7,430	604	114	511	8,659
28	7,230	482	92	633	8,437
29	7,532	799	106	528	8,965
30	8,004	825	115	493	9,437
R元	7,803	883	124	568	9,378
2	7,180	734	147	452	8,513



### (9) 内水面漁業漁獲量

単位：トン

	ます類	あゆ	こい	うなぎ	ふな	その他	合計
H5	22	59	73	33		187	374
6	26	100	89	36		341	592
7	23	91	90	37		258	499
8	24	99	90	31		224	468
9	11	78	80	26	18	145	358
10	11	66	82	26	18	145	348
11	16	78	86	28	16	155	379
12	11	118	95	33	15	102	446
13	7	118	77	17	8	79	403
14	8	104	83	18	11	73	297
15	15	105	84	29	11	85	329
16	2	56	27	10	6	89	190
17	2	52	19	10	5	71	159
18	0	17	3	3	1	22	46
19	0	16	3	4	1	19	43
20	0	16	4	4	1	22	47
21	0	21	13	10	3	46	93
22	1	30	9	7	2	38	87
23	1	18	9	6	3	34	71
24	1	18	8	5	3	28	63
25	1	21	7	3	2	30	64
26	1	16	5	3	2	27	54
27	1	11	4	3	1	22	42
28	1	7	3	3	1	22	37
29	1	14	3	3	1	20	42
30	1	8	3	2	1	18	33
R元	1	9	3	3	1	22	39
2	1	6	4	2	1	19	33

### (10) 内水面養殖業収穫量

単位：トン

	ます類	あゆ	こい	うなぎ	ティラピア	その他	合計
H5	193	574	630	2,882	15	4	4,299
6	213	604	580	2,756	15	8	4,176
7	263	532	649	2,965	1	5	4,414
8	283	616	556	2,806	X	X	4,266
9	286	592	807	2,530	X	X	4,216
10	262	595	859	2,541	2	1	4,259
11	242	696	806	2,644	11	2	4,400
12	170	686	589	2,836	5	2	4,289
13	131	759	572	2,485	. . .	. . .	3,948
14	140	679	571	2,853	. . .	. . .	4,243
15	130	692	566	3,330	. . .	. . .	4,718
16	127	686	514	3,215	. . .	. . .	4,541
17	117	586	514	2,829	. . .	. . .	4,046
18	128	560	525	3,137	. . .	. . .	4,350
19	136	474	325	3,725	. . .	. . .	4,661
20	110	484	324	3,498	. . .	. . .	4,416
21	138	559	316	3,725	. . .	. . .	4,738
22	100	425	315	3,425	. . .	. . .	4,265
23	83	464	371	4,090	. . .	. . .	5,008
24	101	431	371	3,111	. . .	. . .	4,014
25	89	391	367	2,840	. . .	. . .	3,687
26	82	289	364	3,167	. . .	. . .	3,902
27	81	256	362	3,348	. . .	. . .	4,047
28	81	248	362	3,255	. . .	. . .	3,945
29	86	206	360	3,262	. . .	. . .	3,914
30	83	181	330	2,539	. . .	. . .	3,133
R元	83	126	326	3,070	. . .	. . .	3,604
2	x	127	x	2,856	. . .	. . .	3,252

## (11) 水産加工品生産量

単位：トン

	ねり製品	塩干品	煮干し 品	節製品	冷凍 水産物	その他	合 計
H5	3,477	1,972	1,751	1,215	10,724	1,718	20,857
6	3,585	1,235	1,922	566	10,018	2,766	20,092
7	3,343	1,005	1,151	426	7,645	3,005	16,575
8	3,282	1,062	1,867	1,125	7,864	4,621	19,821
9	3,147	1,354	1,936	1,632	23,087	5,740	36,896
10	3,342	1,710	1,684	655	16,001	5,898	29,290
11	3,486	1,459	2,549	463	20,640	6,353	34,950
12	3,170	1,337	2,512	431	20,533	6,433	34,416
13	2,896	674	1,529	736	12,134	8,206	26,175
14	2,551	652	1,182	530	3,918	8,015	16,848
15	2,371	628	1,737	439	3,161	8,362	16,698
16	1,173	590	1,379	481	11,950	2,944	19,057
17	1,609	X	2,287	664	11,687	X	19,559
18	2,651	577	1,547	877	10,314	1,768	17,734
19	2,683	645	2,040	456	10,511	6,506	22,841
20	X	1,935	2,121	385	14,168	X	27,960
21	X	1,451	1,242	437	19,024	X	30,302
22	2,016	1,323	1,226	404	20,373	4,499	29,841
23	2,203	1,254	719	375	22,989	4,910	32,450
24	2,183	1,249	1,310	365	21,040	5,634	31,781
25	2,422	1,219	1,779	263	25,395	5,340	36,418
26	2,521	1,180	1,398	X	28,530	X	33,629
27	2,760	1,240	1,307	X	42,703	6,259	54,269
28	2,822	1,153	1,322	X	30,757	4,607	40,661
29	3,167	1,189	975	X	27,274	5,309	37,914
30	2,872	1,003	1,043	X	32,943	5,802	43,663
R元	2,851	921	1,018	69	30,851	5,815	41,456

※令和2年から主産県調査とされたため、本県の統計なし

## (12) 水産物製造出荷額

単位：百万円

	ねり製品 製造業	冷凍水産 物製造業	冷凍水産 食品製造業	その他	合 計
H5	3,379	3,344	X	8,856	X
6	3,141	3,023	906	9,532	16,602
7	2,944	3,151	744	8,672	15,511
8	2,842	2,417	795	7,645	13,699
9	3,015	1,345	1,143	7,555	13,058
10	3,180	2,610	1,285	8,283	15,358
11	2,888	1,800	1,262	7,478	13,428
12	2,632	2,144	1,308	7,576	13,660
13	2,472	1,276	1,611	6,805	12,164
14	2,191	808	853	13,290	17,142
15	1,286	769	571	13,246	15,872
16	2,144	271	1,172	4,620	8,207
17	1,190	668	438	5,191	7,487
18	1,793	878	492	5,212	8,375
19	1,654	X	56	4,943	X
20	1,241	X	453	6,020	X
21	1,502	X	563	5,313	X
22	2,514	X	682	4,667	X
23	2,217	1,664	9,763	4,050	17,694
24	2,486	X	X	4,542	X
25	2,654	679	X	5,227	X
26	2,575	841	460	3,697	7,573
27	2,654	4,183	700	2,135	9,672
28	2,740	X	2,080	2,803	7,623
29	2,598	X	2,417	3,720	8,735
30	2,498	905	1,769	4,011	9,183
R元	2,515	829	1,633	4,076	9,053

### (13) 海面漁業経営体数

単位：経営体

	個人経営体	団体経営体	合計	内 訳	
				沿岸漁業層	中小漁業層
H5	1,888	163	2,051	1,814	237
6	1,896	178	2,074	1,827	247
7	1,841	176	2,017	1,786	231
8	1,813	170	1,983	1,749	234
9	1,730	171	1,901	1,672	229
10	1,609	183	1,792	1,566	226
11	1,666	175	1,841	1,607	234
12	1,595	179	1,774	1,534	240
13	1,578	188	1,766	1,528	238
14	1,512	196	1,708	1,466	242
15	1,418	185	1,603	1,373	230
16	1,310	195	1,505	1,278	227
17	1,246	191	1,437	1,209	228
18	1,184	189	1,373	1,152	221
19	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
20	1,216	186	1,402	1,192	210
21	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
25	985	168	1,153	960	193
30	790	160	950	778	172

### (14) 内水面養殖業経営体数

単位：経営体

	ます類	あゆ	こい	うなぎ	ティラピア	その他
H5	38	19	28	59	4	5
6	38	19	27	54	X	5
7	35	18	26	57	X	5
8	34	18	22	53	—	3
9	33	19	21	47	—	X
10	39	19	21	43	X	X
11	30	20	19	44	X	4
12	28	19	17	41	X	4
13	29	19	15	38	...	...
14	29	19	15	39		
15	30	19	16	38		
16	30	18	13	38		
17	29	17	11	38		
18	23	19	9	39		
19	⋮	⋮	⋮	⋮		
25	17	14	6	36		
30	12	8	5	33		

平成13年以降の調査対象魚種は、ます類・あゆ・こい・うなぎのみ

### (15) 漁業就業者数

単位：人

	男子	女子	合計
H5	4,562	432	4,994
6	4,480	410	4,900
7	4,420	370	4,800
8	4,300	350	4,650
9	4,140	340	4,480
10	4,008	269	4,277
11	3,950	290	4,240
12	3,850	250	4,100
13	3,710	280	3,990
14	3,670	260	3,930
15	3,495	254	3,749
	⋮	⋮	⋮
20	3,199	161	3,360
	⋮	⋮	⋮
25	2,561	116	2,677
30	2,107	95	2,202

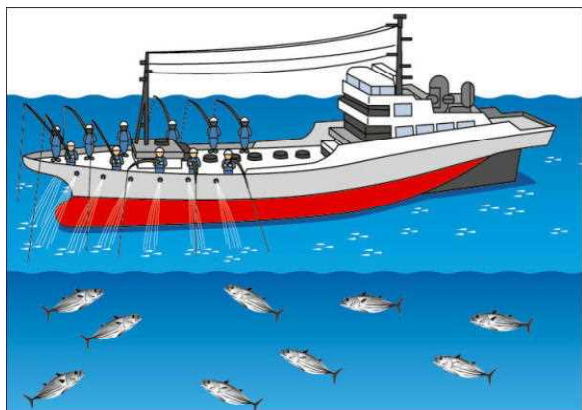
### (16) 漁船登録隻数

単位：隻

	総隻数	無動力 漁船	総動力 漁船							
				0～3 t	3～5 t	5～10 t	10～20 t	20～50 t	50～100 t	100 t 以上
H5	4,093	12	4,081	2,126	1,411	191	238	7	73	35
6	3,983	14	3,969	2,027	1,390	192	245	6	64	45
7	3,936	13	3,923	1,989	1,375	195	256	5	54	49
8	3,891	14	3,877	1,983	1,333	200	254	5	52	50
9	3,842	11	3,831	1,992	1,277	197	263	4	47	51
10	4,046	11	4,035	2,153	1,319	202	259	4	40	58
11	3,989	10	3,979	2,101	1,284	203	280	4	44	63
12	3,946	9	3,937	2,074	1,259	212	291	4	32	65
13	3,714	9	3,705	1,842	1,265	212	288	4	31	63
14	3,648	10	3,638	1,795	1,239	216	289	4	29	66
15	3,488	6	3,482	1,714	1,169	221	294	4	18	62
16	3,329	5	3,324	1,617	1,123	220	289	3	15	57
17	3,202	5	3,197	1,539	1,083	212	291	3	16	53
18	2,965	6	2,959	1,429	1,006	196	271	3	13	41
19	2,971	6	2,965	1,398	1,018	205	289	2	13	40
20	2,889	6	2,883	1,363	982	194	293	2	11	38
21	2,835	6	2,829	1,346	941	202	292	2	10	36
22	2,789	6	2,783	1,321	922	199	293	2	10	36
23	2,775	6	2,769	1,320	902	201	300	2	8	36
24	2,723	7	2,716	1,305	871	200	296	2	10	32
25	2,659	7	2,652	1,277	841	197	294	2	11	30
26	2,604	7	2,597	1,252	817	197	291	2	9	29
27	2,534	7	2,527	1,215	790	193	293	2	8	26
28	2,495	7	2,488	1,199	765	196	292	1	10	25
29	2,404	9	2,395	1,156	726	188	290	1	10	24
30	2,348	9	2,339	1,126	710	181	289	1	9	23
R元	2,276	9	2,267	1,094	680	172	289	1	8	23
2	2,221	9	2,212	1,071	653	167	290	1	8	22
3	2,139	8	2,131	1,018	631	162	289	1	8	22

数値は全て12月末現在

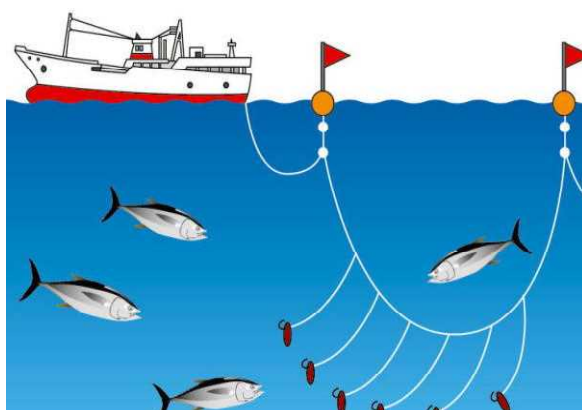
## 2 宮崎県で行われている主な海面漁業



### かつお一本釣（いっぽんづり）漁業

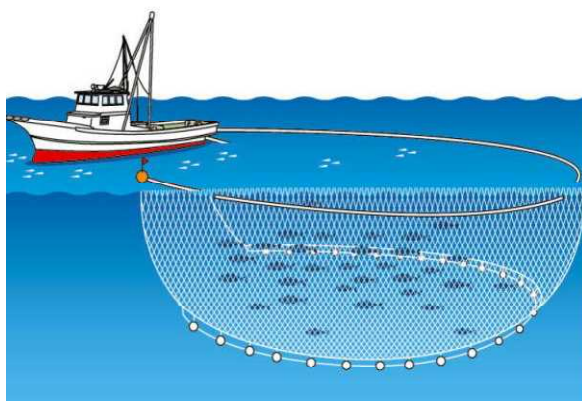
釣竿を使った一本釣りでカツオを釣ります。カツオの群れを追って近海を操業し、群れを見つけると、活きたカタクチイワシ等をまいた後に、ぎじ針のついた竿で釣ります。

主に日南市の漁船が行っています。



### まぐろはえ縄（はえなわ）漁業

沿岸まぐろはえ縄漁業では、10 km～100 kmの幹縄（みきなわ）に釣針の付いた枝縄（えだなわ）を付け、アジなどの餌を付け、早朝の海に流し、一定時間経過後に引き上げて漁獲します。主に日向市、日南市、川南町の漁船が行っています。



### まき網（まきあみ）漁業

4隻～5隻の船団で行う漁法です（網船1、灯船（ヒブネ）2、運搬船1～2）。

灯船が海中に水中集魚灯を下ろして光に集まった魚を網船で漁獲します。

主にアジ、イワシ、サバ類を漁獲します。

主に延岡市の漁船が行っています。

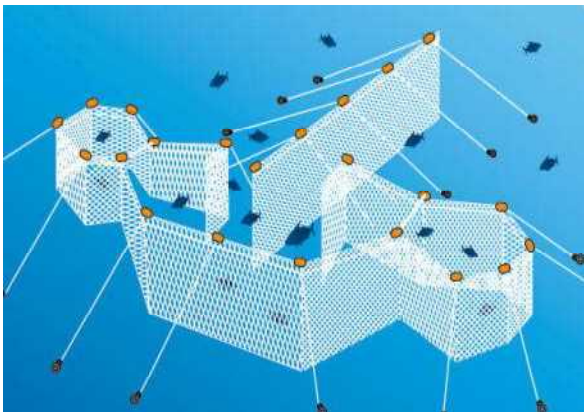


### ひき縄（ひきなわ）漁業

釣糸の先端部にぎじ針を付け、水面の表層又は表層近くを船で曳きます。

主に沿岸で行われ、主な漁獲物はマグロ類、カツオ類、サワラ等です。

県内全域で行われています。



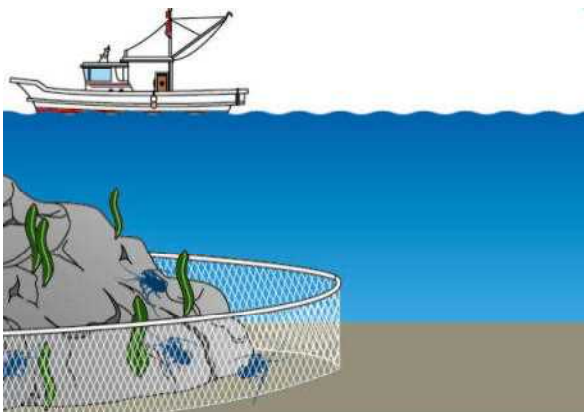
### 定置網（ていぢあみ）漁業

漁具を固定して行う漁業で、主に回遊を行う魚類を対象にしています。

県内では、沿岸域に設置してあります。

主な漁獲物はブリ、アジ、タチウオ、イカ等です。冬期には延岡市、串間市で大型のブリが漁獲されます。

主に県北と県南地域で行われています。



### 建網（たてあみ）漁業

網を岩場に設置し、魚やイセエビ等はその網にからまって漁獲されます。

主な漁獲物はイセエビ、ヒラメ、メジナ等です。

県内全域で行われています。

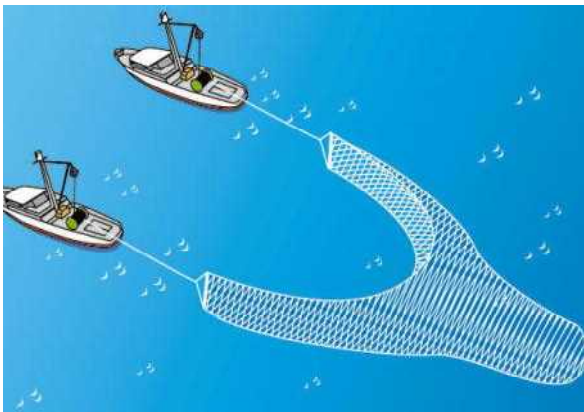


### 小型底びき網(こがたそこびきあみ) 漁業

漁船を動かしながら、海底を網でひいて、海底にいる魚等を漁獲します。

主な漁獲物は、エビ類やカニ類、ハモ、ヒラメ等です。

主に延岡市、門川町、川南町、宮崎市、串間市の漁船が行っています。

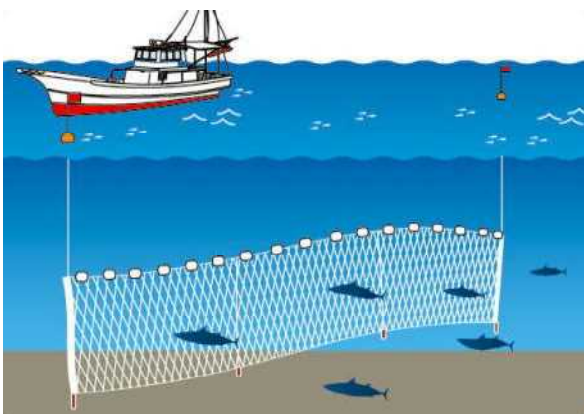


### 機船船びき網(きせんふなびきあみ) 漁業

3隻で操業し、2隻はゆっくり走りながら網を曳きます。残り1隻は漁獲物の運搬を行います。

主な漁獲物はカタクチイワシの稚魚でシラス干しの原料となります。

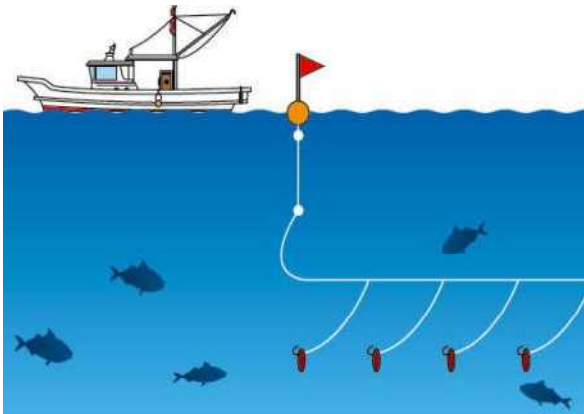
主に延岡市、日向市、宮崎市の漁船が行っています。「ぱっち網」とも言われます。



### 刺網(さしあみ) 漁業

魚が通過する場所をさえぎるように設置し、魚が網に刺さるような形で漁獲されます。

主な漁獲物は、サワラ、カマス、アジ等です。県内全域で行われています。

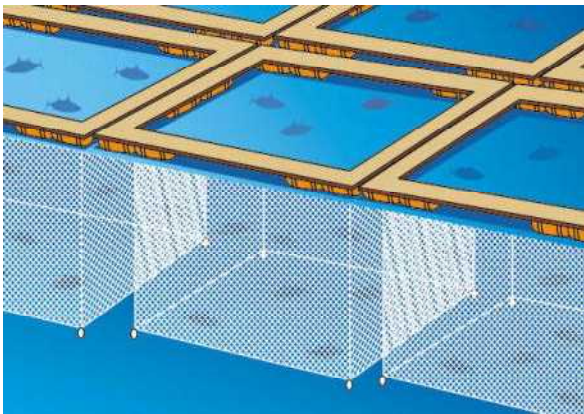


### はえ縄（はえなわ）漁業

幹縄（みきなわ）と呼ばれるロープに釣針に餌をつけた多くの枝縄（えだなわ）をつけて海に流し、一定時間経過後に引き上げて、漁獲します。

主な漁獲物は、タイ、フグ、シイラ、アマダイ等です。

県内全域で行われています。



### 養殖（ようしょく）業

網を張ったイケス等を使用し、餌を与えて、魚等を大きく育て、出荷します。

カンパチ、ブリ、タイ等を主体に延岡市、串間市等で養殖が行われています。

また、ヒラメなどは陸上水槽を用いて行われ、主に延岡市、日南市などで行われています。



### 3 宮崎県水産物ブランド認証品

宮崎県では9品目の水産物がブランド認証されています！



第1号 宮崎カンパチ



第2号 北浦灘アジ



第3号 門川金鱧



第4号 ひむか本サバ



第5号 宮崎かつお  
うみっこ節



第6号 五ヶ瀬やまめ



第7号 宮崎焼耐  
もろみ漬け(シラ)



第8号 宮崎一口あわび  
浦の恵



第9号 みやざき金ふぐ

## 統計用語の説明

### 【海面】

海面漁業	・海面において利潤又は生活の資を得るために、生産物を販売することを目的として行う漁業生産行為。
海面養殖業	・海面又は陸上に設けられた施設において、海水を使用して水産動植物の種苗を生産し、又は水産動植物を集約的に育成し、収穫する事業。
漁業経営体	・利潤又は生活の資を得るために、生産物を販売することを目的として、海面において水産動植物の採捕又は養殖の事業を行った世帯又は事業所。ただし、基準期間1年間における漁業の海上作業従事日数が30日未満の個人経営体は除く。
経営組織	・漁業経営体を経営形態別に分類する区分。
個人経営体	・個人で漁業を自営する経営体。
会社経営体	・個人経営体以外の経営体をいい、会社、漁業協同組合、漁業生産組合、共同経営、官公庁・学校・試験場に区分。
漁業層	
沿岸漁業層	・漁船非使用、無動力船、動力船10トン未満、定置網、地びき網及び海面養殖の各階層を総称したもの。
中小漁業層	・動力船10トン以上1,000トン未満の各階層を総称したもの。
大規模漁業層	・動力船1,000トン以上の各階層を総称したもの。
遠洋漁業	・本県では、遠洋まぐろはえ縄漁業・遠洋かつお一本釣漁業を示す。
沖合漁業	・10トン以上の動力漁船を使用する漁業のうち、遠洋漁業、定置網漁業及び地びき網漁業を除いたもの。
沿岸漁業	・漁船非使用漁業、無動力船及び10トン未満の動力漁船を使用する漁業並びに定置網漁業及び地びき網漁業を示す。
漁業制度	
大臣許可漁業	・漁業法（昭和24年12月15日法律第267号）に基づいて政令により定められた漁業（「指定漁業」と称されている。）で農林水産大臣の許可を受けなければ営むことができない漁業。
知事許可漁業	・漁業法により、知事の許可を受けなければ営むことのできない漁業（法定知事許可漁業）及び都道府県漁業調整規則で知事の判断に基づき独自に規定した漁業で、知事の許可を受けなければ営むことができない漁業。

特定大臣許可漁業

・指定漁業以外であって、農林水産大臣の許可がなければ営むことができない漁業。

漁業権漁業

・都道府県知事の免許を受け、一定の水面において排他的に一定の漁業を営む権利を有する漁業で共同漁業、区画漁業、定置漁業が含まれる。

自由漁業

・海面で農林水産大臣又は知事の許可・承認等を必要としない漁業。

その他の漁業

・上記の他で以下の漁業を示す。

(1) 官公庁、学校、試験場等の調査船で行う漁業

(2) 海区漁業調整委員会の承認を受けて営む漁業

(3) 農林水産大臣に届け出を行って営む漁業

## 【内水面】

内水面漁業

・公共の内水面において水産動植物を採捕する事業をいい、天然種苗の採捕及び漁業権の設定されている内水面での遊漁を含む。

・平成18年からは販売及び自家消費を目的として漁獲した魚種別の数量並びにあゆ、うなぎの種苗を採捕した数量を調査対象とし、遊漁者の採捕量は含まない。

・平成16年に調査範囲の見直しが実施され、大淀川・一ツ瀬川の2河川が調査範囲とされた。

内水面養殖業

・販売を目的として、一定区画内の内水面において、養殖場等を設置し、人為的管理を積極的に行い、水産動植物を育成収穫する事業。

## 【単位・記号】

単 位

・表示単位未満の端数は四捨五入しているため、計と内訳とは一致しない場合がある。

記 号

「—」：事実のないもの

「…」：事実不詳又は調査を欠くもの

「0」：単位に満たないもの（例：漁獲量0.4t⇒0t）

「X」：個人、法人又はその他の団体の個々の秘密に属する事項を秘匿するため（統計法第14条）数値を公表しないもの、また、計からの差し引きにより「X」表示の推定できる場合、関連する数値も公表しない者として扱う

「▲」：負数又は減少したもの

「…」：未発表のもの